

桜樹会会報

● 第37号

創立40周年記念号



平成15年5月

日本大学桜樹会

日本大学桜樹会創立40周年記念企画 — 思い出の写真集 —

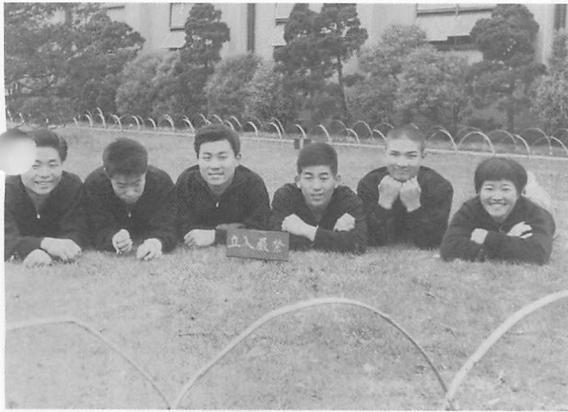
日本大学桜樹会創立40周年を記念して、思い出の写真集作成を企画し、一昨年より呼びかけをしてきました。貴重な写真をご提供いただいた会員の皆様に対して、心より感謝申し上げます。ただし、残念ながら、25周年記念誌作成の時と同様に写真の集まりが悪く、一部偏りのある掲載になってしまったことをご容赦ください。

いずれにしても、時代が止まることなく進む中、その時々に残してきた足跡は永遠です。この写真集の中から、それぞれの時代に残されていた足跡を見ていただき、日本大学体操部、そして日本大学桜樹会発展のため、今後より一層のご協力をお願い申し上げます。

総務 遠藤幸一



堀田淳二
(2回卒) 提供



昭和32年春、左から
岩本、堀田、古市(故)、芳尾、平川、合田



昭和36年 秋田インカレの帰り、門脇先生の
家へ遊びに行った時のもの。
坊主頭の子供は門脇 隆(10回卒)

近藤盛一（8回卒）提供



昭和39年秋
練習開始の挨拶



昭和40年 高知インカレ



① 昭和40年6月 コンパにて



② 昭和41年
宮崎 日南海岸

門脇 隆
(10回卒) 提供



昭和43年6月12日 ③
草皆顧問(故)と



⊕ 昭和43年3月20日 幸寿司にて



昭和42年11月23日 ⊕
合宿所全員で高尾山へ

第22回 全日本学生体操競技選手

昭和43年8月21日～25日 AM 9:00



⊕ 昭和43年8月21日～25日 長崎インカレ



⊕ 昭和44年1月18日～28日
大般にてアルバイト



① 昭和43年1月6日 練習始めに



① 昭和43年4月28日 高尾山にて新入生歓迎会（187名）

山本好隆（11回卒）提供

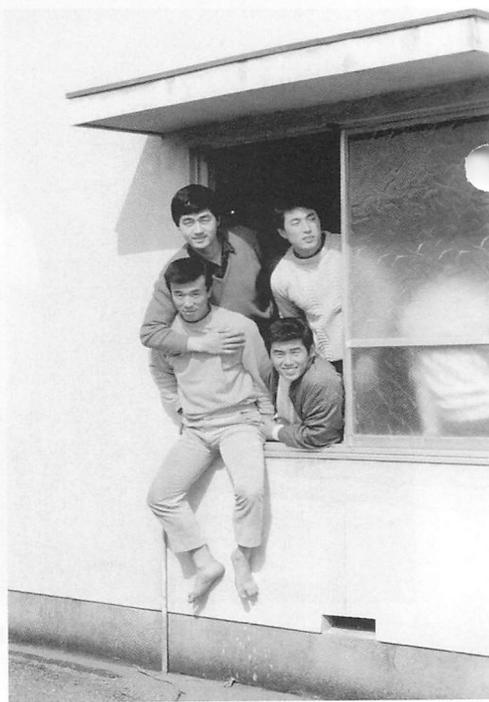
大学1年、合宿所の屋根にて
かくれタバコの現場(昭和41年)
左から綱島、大原、山本



昭和43年春
学生運動にて体育館が使用できない時
秋田合宿所にて
左から 工藤、山本、原、大原、三木

菅野秀俊（13回卒）提供

千葉春合宿にて
山崎、椎名、菅野、山口
(昭和46年)





④ 八幡山合宿所にて（昭和46年）
後列左から
石井、外山、菅野、椎名、辻
前列左から
馬場、寺元、西巻、錦井

谷田部光則
(15回卒) 提供



④④ 第25回全日本選手権
(昭和46年)

山本好隆（11回卒）提供



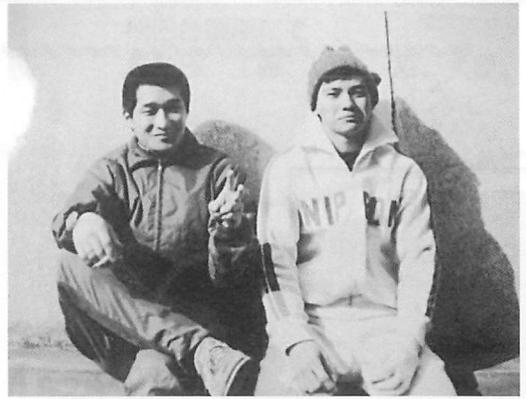
北村弘文（16回卒）提供



⌚ 昭和46年 体育館にて



⌚ 昭和46年 新人戦
左から 種本、錦井、北村、赤嶺コーイチ、
西巻、寺元、川野



⌚ 昭和48年 三島合宿
左から 北村、梶山（17回卒）

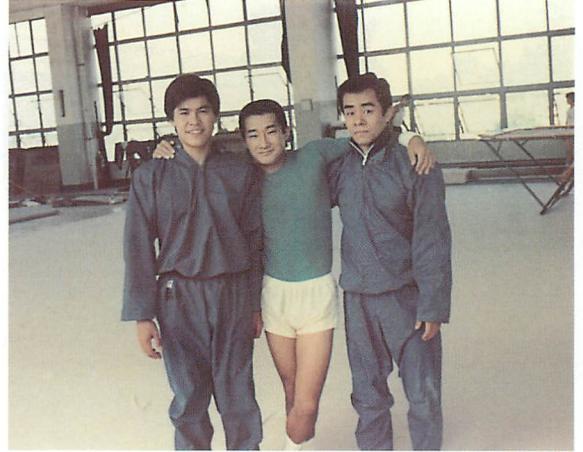


⌚ 昭和49年 文理学部にて
前山、北村
黒崎、松田



➡ 昭和49年
屋上にて
左から 北村、山田、高橋、
水田、小林

昭和49年
左から 前山、北村、寺元



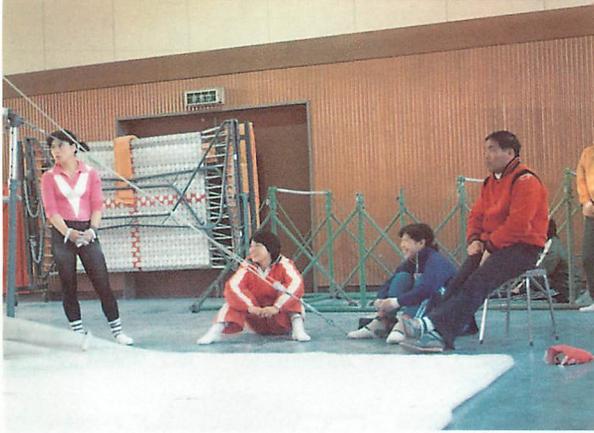
➡ 昭和50年 三島合宿 新井、北村、馬場

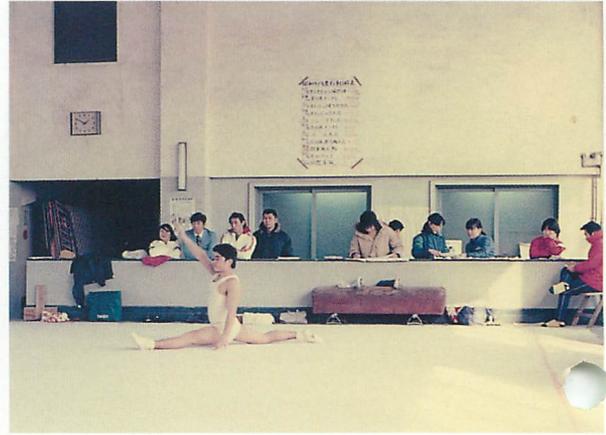


体操準備室
アルバムより



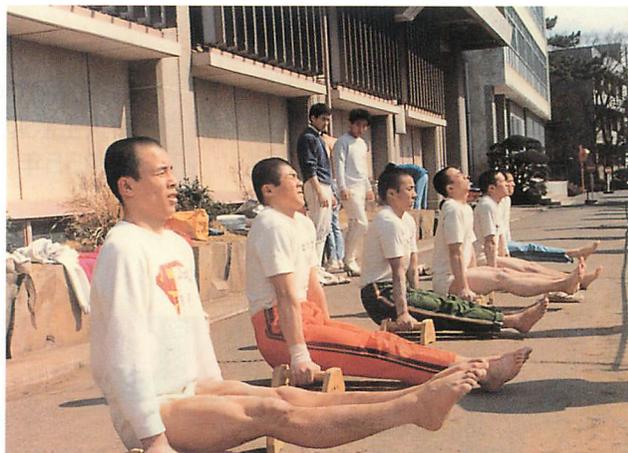






早瀬幸博
(23回卒) 提供

久しぶりに、みなさんに連絡をとりました。電話の声は昔と変わらずですが、姿形は想像もできず、卒業した頃の穏やかな顔が浮かびました。



あれから22年。回りの景色とともに変化が訪れ、私たち23回卒業生も少しずつ変わった気がします。入学直前には、見るもの、聞くもの全てが新鮮で感動的でした。その感動の中で4年間一緒に時を過ごし、練習の厳しさ、楽しさ、生活の全てを教わった気がします。遠く離れても忘れがたいのは、日大体操部時代と仲間の存在です。これからも連絡を取り、末永くつきあっていきたいと思っています。

体操準備室
アルバムより



◀ 三島合宿 ギャリ
昭和54年

菊谷会館での
新入生歓迎会
昭和55年



昭和56年
栄寿司にて オイコン



昭和57年春 三島合宿

ザリ終了後
男子合宿所
屋上にて
昭和56年





➡ 高尾山へお払い
昭和57年



➡ まだ白いシートだった
昭和57年 体育館にて



➡ 昭和56年 豊島園にて
新入生歓迎会 2年生 (25回卒)



➡ 今ではほとんどなくなった小学校での実演会
昭和57年



➡ 合宿所での鍋パーティー 昭和56年



④ 昭和59年
三島合宿 食事風景



⑤ 三島合宿での持久走 昭和59年



⑥ 三島合宿 昭和58年春

三島合宿 ➡
昭和59年春
新入生 (29回卒)



➡ 三島合宿
昭和60年春



三島合宿 ➡
昭和61年春





❶ 卒業スキー旅行
昭和61年



❷ 千葉 社会人大会



❸ 昭和61年 体育館にて 新入生 (31回卒)

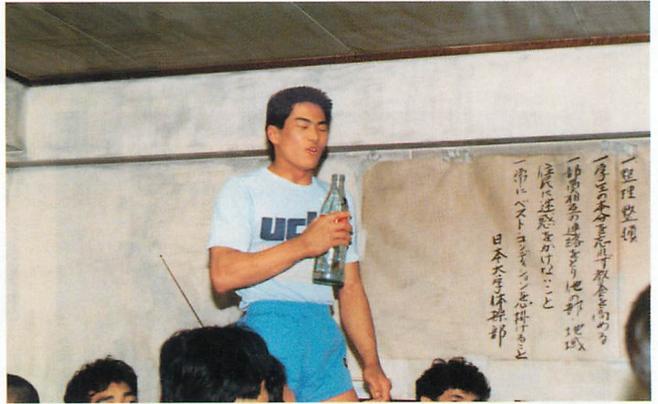
新入生歓迎会 ◀
昭和61年4月27日
読売ランドにて



▶ 昭和61年6月15日
東日本インカレ
7年ぶりの団体優勝



男子合宿所にて ◀
プロジェクトAを歌う
長谷川靖 (30回卒)



▶ 優勝のビールかけ
昭和61年





大会優勝者

昭和61年
全日本インカレ（上越）優勝



昭和61年
インカレ優勝祝賀会





◀ 昭和61年
佐世保全日本にて 桜樹懇親会



① 全日本個人優勝 水島宏一（29回卒）
梶山先生の持つ最年少記録を破る。



① 昭和61年
佐世保全日本 男子団体3位



昭和62年 ▶
北九州インカレ 男子団体優勝



◀ 昭和62年
北九州インカレ 女子団体5位



平成元年
世界選手権壮行会 役員打合せ



体操場を舞台に「こちら夢スタジアム」
の収録。(昭和62年)

昭和63年 体操場にて新歓



平成元年
世界選手権壮行会にて学生3名の代表を送り出す。
知念 孝 (30回卒)
佐藤寿治 (32回卒)
松永政行 (33回卒)
西川大輔 (34回卒)



平成元年11月 →
全日本（北九州）男子団体2位



→ 平成2年 三島合宿



採点規則テスト →

← 体力測定



← 平成2年 入学式
現在の体操部公式ブレザー



↑ 平成2年 全日本インカレ (尼崎)
男子団体優勝





平成2年12月
倒立大会



平成2年
男子合宿所 栄養会



勝ちませ 日大わ



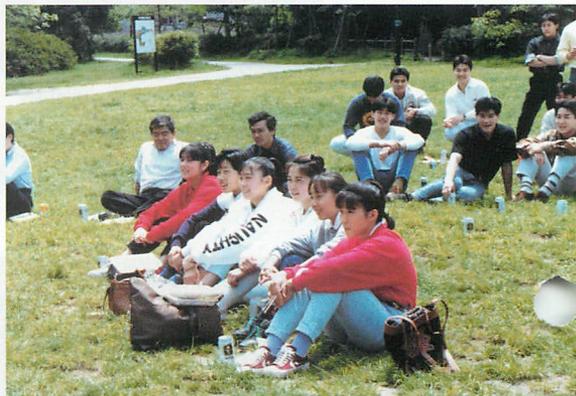
倒立大会



男子試技会後のミーティング



◀ 平成4年3月21日
木村先生教授 昇格祝賀会
(日本学会館)



◀▶ 平成3年 新歓



平成5年 土浦合宿 ▶



▶ 平成5年 新歓

平沼女子
総合選手



← 平成7年
4年生送別会
(36回卒)



← 37回卒 新歓にて



← 平成7年 土浦合宿



38回卒 新歓にて →





➡ 平成6年
土浦合宿



➡ 37回卒 土浦合宿ザリ



⬆ 39回卒 平成7年 土浦合宿



平成6年 新歓にて ⬆





② 土浦合宿 40回卒

土浦合宿 41回卒 ③



④ 平成4年 社会人大会





平成9年
土浦合宿



平成8年6月15日
遠藤先生紫綬褒章 受章祝賀会
(カフェテリアチェリー)



アトランタ五輪
日本大学桜樹会 関係者壮行会



42回卒 土浦合宿にて



平成9年 関東新人戦 女子団体優勝



平成12年
土浦合宿
(力泉にて)



平成11年 土浦合宿



43回卒 体育館にて

葛西玲広 (43回卒) 提供

42回卒
新歓



日向彩百合 (44回卒) 提供



平成12年春 土浦合宿 44回卒



平成15年 卒業生送別会 (サンルート東京)

平成14年7月
新宿京王
(フコ代)

早田卓次先生紫綬褒章受章祝賀会



平成14年7月19日

早田卓次先生紫綬褒章受章祝賀会

新宿京王プラザホテル
5階 コンコールドルーム

平成9年度全日本体操競技選手権大会 男子団体優勝記念



日本大学体操部

(東京1-10) 全日本体操選手権大会 平成9年度 男子団体優勝記念 日本大学体操部

目 次

創立 40 周年記念企画-思い出の写真集-

1~32

日本大学桜樹会創立 40 周年に寄せて	顧問	門脇	春男	1
桜樹会との関わり	顧問	遠藤	幸雄	2
思えば遠くに来たもんだ	1 回卒	石井	征也	3
総合型地域スポーツクラブの将来像についての私見	9 回卒	今村	悟	4
会費納入のお願いと住所シールの見方				8
平成 15 年度分の会費について				8
平成 14 年度事業および行事報告				9
平成 14 年度競技会成績報告	25 回卒	遠藤	幸一	10
	31 回卒	長澤	郁子	
平成 14 年度懇親会報告				21
平成 14 年度役員会報告				23
平成 14 年度会費納入状況報告				27
平成 14 年度収支決算報告				30
平成 14 年度総会報告				31
平成 15 年度役員一覧				34
平成 15 年度事業および行事計画				35
平成 15 年度予算案				36
平成 15 年度日本体操協会行事予定				37
平成 14 年度体操部役員および部員				38
専門書出版のお知らせ	9 回卒	今村	悟	39
現代っ子	16 回卒	北村	弘文	39
日本大学体操部・日本大学桜樹会資料室				
日本大学体操部の団体順位の変遷				40
日本大学体操部出身のオリンピック選手				41
日本大学桜樹会会員情報				42

日本大学櫻樹会創立40周年に寄せて

顧問 門脇 春男

江戸幕府が徳川家によって開府されたのは、慶長8(1603)年2月12日(新暦では3月24日)である。東京都では、この4～5月にかけて開府400年記念行事が神田・日本橋・銀座を中心に数多く計画されている。

いまの皇居は江戸城であるが、さらにその150年程前の長祿元(1457)年、太田道灌によって築城されていた。

我庵は松原つづき海近く

富士の高嶺を軒端にぞ見る

とあるように、現在の皇居前広場から丸の内から日比谷公園・新橋・品川あたりまでは遠浅の海で、家康によって江戸城東南側のこの地域の埋め立てや干拓事業が行われ、10万石以上の大名屋敷として幕府から供与され、さらには掘り割を数多く造り、お城の防衛と水路による物流を図り、日本橋を中心とした商人の繁栄と内神田、神楽坂や人形町など庶民生活の潤いのある町をつくり、やがて人口世界一の百万都市となる基盤をつくった。

さて、櫻樹会が誕生してから40年、上記の江戸開府400年からすればその1/10の歳月ではあるが。しかし、同僚大学である慶応義塾の三田体操会100年(創部は明治35年=1902)、早稲田の稲門体操会70年(創部は昭和8年=1933)や日本体操協会(昭和5年=1930)の歴史からみても、わが櫻樹会(創部は昭和32年=1957)のこの40年の歩みは、実に素晴らしい歴史と充実した内容をもった組織である。

日本大学櫻樹会よ永遠であれ!

2003, 3, 28 記

○付記1: 昨年のこと、40周年記念寄稿文だと思つて原稿を出したら、櫻樹会会報第36号『体育館の思い出』として発刊されていますので、昭和30年代の頃の歴史として見て下さい。

○付記2: 先日のこと、何とはなしにテレビ東京を見ていたら、

・3月12日、東宝映画『エレキの若大将』: 1965年の作品…内容は、アメリカンフットボールの練習風景である。日大のグラウンドでの練習で、背景に第二体育館が写った。校舎の中庭には第一体育館も見ることができた。

・3月13日、『アルプスの若大将』: 1966年の作品…内容は、スキーマの選手の学生生活である。中庭の噴水あたりのシーンの中に、第一体育館や大講堂を眺めることができた。

わたくしにはとても懐かしいワンシーンで、いろいろなことが走馬灯のように駆けめぐった。

<参考資料>

昭和31年度部員名簿(体操部同好会時代)

主将; 河津章夫(経2年)

総務; 稲橋恒行(経1年)

副将; 井口文澄(経1年)

須田喜一(工1年)

部員; 北田祐治(経2年)・浅野浩(経2年)・中沢光郎(経2年)・横関英二(経2年)・今井康裕(経2年)・大河内信勝(経2年)・加藤耕嗣(経1年)・石川邦勝(経1年)・前川真一郎(法1年)・新井賢三(法1年)・藤島孝(法1年)・

後藤英彦(法1年聴講生・ハワイ島)・

岩倉満志(工1年)・中台禎弥(工1年)・

甘利正治(工1年)・下田利久(工1年)

以上20名

昭和32年度部員名簿（体育会体操部時代）

※経済学部から商業学科が独立する。

主将；石井征也（法2年）

総務；稲橋恒行（経2年）

部員；中沢光郎（経3年）・

横関英二（経3年）・今井康裕（経3年）・

大河内信勝（商3年）・浅野浩（商3年）・

河津章夫（商3年）・北田祐治（商3年）、

井口文澄（経2年）・石川邦勝（経2年）・

綾部格（法2年）・前川真一郎（法2年）・

新井賢三（法2年）・下田利久（工2年）・

須田喜一（工2年）・岩倉満志（工2年）・

中台禎弥（工2年）・合田恭子（文2年）・

平川文雄（経1年）・野崎建夫（経1年）・

岩本忠喜（経1年）・古市和也（経1年）・

芳尾明（商1年）・吉川晃（輝）（商1年）・

堀田淳二（商1年）・大島宗之（工1年）・

岸野武司（工1年）

以上28名

桜樹会との関わり

顧問 遠藤 幸雄

先づ以て桜樹会の創立40周年を心からお祝い申し上げます。

日本大学体操部のOB・OGを会員として、桜樹会が誕生したのは昭和38（1963）年3月24日である。私が文理学部に奉職したのが昭和34（1959）年4月、現会長の石井征也氏は4年に在学中で部の主将を務めていた。したがって、桜樹会の誕生4年前から、いずれ会員となるメンバーとの出会いが始まっていた。

当時、体操部の部員数は男女で40名ぐらい、極めて家族的な雰囲気を持ちつつも、創部間もないせいかとレーニングは熱気に満ちていた。以上のようなご縁から私にとって、体操部と桜樹会は同距離の意識で今日に至っている。

手元に変色した桜樹会会報がある。昭和45（1970）年3月発刊の創刊号である。それには「桜樹会の歩み」として、昭和38～44（1969）年までの競技会を含む諸行事がまとめられ、忘年会が昭和39（1964）年から、新年会と3回で終了した「ハゼ釣り大会」は昭和40（1965）年から開催されたことが、親切にも参加人数を含め報告されている。

「ハゼ釣り大会」には一度だけ参加しているが、全員収穫ゼロだったことから記憶は確

かである。

不思議ともいえる愛好者の多いゴルフコンペの登場は遅く、創立25周年記念誌によると昭和47（1972）年からになっている。

これまでゴルフを除く行事（近年、忘年会は遠のいている）には許す限り参加し、親交を深めてきましたが、想い出づくりと若返りのためにも声掛けを是非お願いいたします。

さて、体操部の喜び“イコール”桜樹会とした場合、過去コーチ、監督、部長の任を与えられた時代に触れる必要があります。コーチ時代は選手を兼ねていたため専任コーチとはいかず、部員と共にトレーニングすることで補い、競技会では幫助をとおしてスキップを図れたと思っています。

監督時代、男子の東インカレならびに全日本インカレにおける5回の優勝、部長時代の全日本優勝1回という体験は、桜樹会の皆さんと共に喜びだけではなく、体操部と一体となる感動を共有できたという点で、誠に有難いことと受け止めています。一方、体操部に関して多少、不安を感じた時期もありましたが、そのことにより私自身が鍛えられ、幅の持てる思考が可能になったような気がします。

さいごに、体操部と桜樹会との長い関わり

の中で、体操競技の技術だけでなく、人としての教育を受ける機会を与えられたとって過言ではありません。体操部の延長線上に桜

樹会が存在する以上、体操部にはやはり競技力の向上を、桜樹会には確かな年齢とより健全な発展を祈念せざるをえません。

思えば遠くに来たもんだ

日本大学桜樹会会長

1回卒 石井征也

25周年記念誌の書き出しですが、あれからさらに15年が過ぎ、会員数も800名を越すに至りました。

40年前を振り返るため会報創刊号を読み返しました。会の設立と会報の目的を再確認するため、桜樹会の結成と会報発行の生みの親である当時の菊地君男総務の「発刊に寄せて」の寄稿文の一部を紹介したい。

4年間、共に練習に励んだ思い出をもつ者が、卒業後も相集いて、体操に対する情熱を語り合う。そんな雰囲気は今も変わっていない。…中略…親睦を中心とした会から脱皮して、充実した会に育てていくため、我々は何を為すべきであるか、そのひとつの足掛かりがこの機関誌の発行であろう…中略…この機関誌の意図するところは、まず会員相互（現役も含めて）の交流の手立てにすること。

遠く離れた友の消息を知ったり、後輩の活躍ぶりを知ることはうれしいことである。

しかし、そればかりではなく、お互いが厳しい社会生活の体験を通して人生を語り、悩みを話す場としても重要な意義を持つのではないだろうか…中略…ささやかなこの機関誌が、立派な機関誌に成長する日の間近いことを念じつつ…。と言葉を結んでいる。

このことこそが、総べてを語っていると同時にこれからの桜樹会の方向を見誤ることのない重要な指標と考える。

ここで現実的な話しに戻るが、2002年度の決算書をご覧になってお判りいただけると思うが、会費納入者は全会員の4分の1にも満たない状態で会を運営している。

現総務の遠藤幸一君が如何に有能であっても、先立つものが限られていれば活動にも限界があります。

現役体操部に対する補助も、桜樹のマークを背負って活躍してくれる選手に対する補助も、決して満足できるものではありません。

過去には会報に広告の掲載なども行なった経緯などもありましたが、そんな手段よりも全会員が会費を納める気運になれば財政上の悩みは解決します。

今まで几帳面に会費納入をしてきてくださった会員の方々には甚だ不公平感を与え、申し訳なく存じますが、過去の会費未納者の方々には、過去のことは過去のこととして、今年度からでも結構です。会費納入宜しくお願い致します。

会創立40周年にあたり、より一層の会の充実に向け、会員の皆様の一致団結を望みます。

総合型地域スポーツクラブの将来像についての私見

—ドイツにみる日本の進むべき道—

9回卒 今村 悟

文部科学省から平成12年9月に「スポーツ振興基本計画」が示されました。また、日本体育協会は「21世紀の国民スポーツ振興方策」を策定し、今後の国民スポーツの振興の方向を示しました。

次の施策を今後10年(平成13年度から22年度)で概ね達成すべきととしています。

- ①地域におけるスポーツ環境の整備充実方策
- ②わが国の国際競技力の総合的な向上方策
- ③生涯スポーツ・競技スポーツと学校スポーツとの連携推進方策

この基本計画は、国が目指す21世紀のスポーツ振興施策を体系的・計画的に推進する方向を示したものです。

「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実方策」では、政策目標達成のため必要不可欠であるとして、

だれもがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会を21世紀の早期に実現するため、総合型地域スポーツクラブを重点施策として、できる限り早期に成人の週1回以上の実施率を50%とする。

として総合型地域スポーツクラブの展開は、2010年(平成22年)までに、全国の各市町村において少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成する。

と示しています。これはヨーロッパのスポーツクラブをモデルにした総合型地域スポーツクラブを各市町村にということのようです。今回の報告は、ドイツのスポーツクラブを分析することにより、将来の日本の進むべき方向性を示したいと思います。

ヨーロッパにおけるスポーツクラブは、19世紀はじめに今日の形が出来上がり、現在の国民スポーツや競技スポーツの根幹をなすものです。これはドイツにおいても変わりませ

ん。ドイツではヤーン(F. L. Jahn 1778-1852)が1811年ベルリンのハーゼンハイデに最初の体操場を開設しました。そして、その体操をTurnen(トゥルネン=ツルネンは間違い)と名づけました。それまでの体操はグーツムーツ(J. F. Guts-Muths 1759-1839)によってギムナスティックと呼ばれていました。ヤーンの体操は、ナポレオンの占領から開放するために、愛国主義的な考えから国家の再建に体操を有用したのです。その体操はのちにヒトラーにも利用されてしまいました。ヤーンは国民の気持ちをあつという間に掴み、1816年ドイツで最初の体操クラブがハンブルクに誕生しました。そして、その後各地に体操は各地に爆発的に普及し多くのクラブが創設されました。また、イギリスからは多くのスポーツが入って、ドイツ各地にスポーツクラブも創設され、体操クラブとスポーツクラブを併せ持ったクラブも誕生していきました。

このクラブ誕生を促進したのがクラブ法という、民法第2章法人の中に明記された法律です。クラブ法は、1896年に作られた非常に古い法律で、今日のドイツ社会を構成している重要な法律となっています。このクラブ法には、営利団体と、非営利団体に分けられており、非営利団体は各種クラブ(切手収集、コーラス、アマチュア無線、家庭菜園、郷土史研究etc)や協会があてはまる。つまり、日本で注目されているNPO(non profit organization)は、100年以上も前にドイツでは法整備が整い社会に根付いているのです。

しかもこの法律は、認可団体の取り扱いを受ける法組織になっており、わが国の許可主義とは大きな違いがある。わが国では所轄官庁の許可が必要で、何事にも監督に服する体系になっている。

各種クラブは、設立に際し最低7名の会員が必要で、地域の所轄裁判所に届けることによって登録（e.V）の公認クラブとなる。現在ドイツ国内に登録されているクラブは約30万といわれています。

スポーツクラブは裁判所以外に、各州のスポーツ連盟と各競技団体に登録する。各州スポーツ連盟はけが等に対する安全保健管理、各競技団体は競技会参加のためである。ドイツのスポーツを統括しているのがドイツスポーツ連盟（以下DSB）で、現在8万7千のスポーツクラブがDSBに登録されている。

例えば、ssv Ulm 1846 .eV ドイツ南部のウルム市にあるスポーツクラブで、ドイツでは1.2を争う大きなクラブで会員数7千人を有する。s s vとは、スポーツのS、次のSは水泳のS、Vはクラブ（Verein）のVで、1846年に創設され、クラブ法に基づいて登録された意味のe.V(eigetrage Verein)となる。また、私が所属していたクラブ名は、TuS Meinerzhagen 1877 e.V で、体操（Turnen）と（und）スポーツクラブ（Sport Verein）マイナーツハーゲン1877年創設登録クラブとなり、現在約1200人の会員が登録されている。

各スポーツクラブは、単独種目であったり、多くの種目をかかえているクラブといろいろで、100人に満たない小さなクラブから、7千人を超える大きなクラブがあります。しかし、100人に満たないクラブは、総クラブ数の36.6%を占めており、300人までのクラブを合わせるとなんと69%にもなるのです。つまり、ドイツの約70%のスポーツクラブは小さなクラブであり、地域と密接に結びついている。前述のように、7名で新しいクラブが創設できる。同じ目的・目標をもった人たちが集り、クラブを作り、目標に向かって進んでいくのである。このことはなにを意味しているのでしょうか。

日本が今推し進めようとしているクラブは、大きなスポーツクラブを作り、そこから

市民にスポーツ参加を促そうとしています。しかし、果たしてそれで国民のスポーツに対する理解が増えるのでしょうか!? 残念ながらNOといわなければなりません。

日本が推進しようとしている総合型地域スポーツクラブは、現状を打破するものではありません。

その根拠として、

1. 官主導のスポーツクラブ創設は、監督指導が厳しくなり、会員の自主性をなくし必ず反発を招く。
2. 官主導は、クラブ組織への天下りを招き、スポーツと関係ない人たちが組織のトップになる可能性が大きい。プロ野球球団やサッカーのJリーグチームが端的に表している。
3. 寄せ集めのクラブ運営は、会員間の意見対立を招き、日本社会に残る閥をつくる。
4. 事務処理が多くなり、ボランティアだけでは行えない。
5. 地域に一つのスポーツクラブでは会員の選択権がなく、マンネリになりやすく競争原理が働かない。
6. 日本独自の方式を今までの歴史から生かすことである。日本の文化と歴史を無視し、ただ単にヨーロッパのスポーツクラブを真似ればよいのではない。
7. ボランティア指導は責任感の欠如を招き、競争原理がここでも働かない。
8. スポーツを管轄する組織の改革が進んでいない。例えば、学生団体、社会人団体等各団体が独自のリーグ戦を行い競争原理が働かない。選手指導についても一貫性がなく選手強化の面から非常にマイナスである。
9. 地方における体協等の職員は、都道府県や市町村からの出向がほとんどで、専門的知識に欠け、しかも3年くらいで移動となり、移動ごとに一からの勉強で始まり、長期にわたる計画性に欠ける。

以上のことが現時点での問題点であり、この問題を解決しない限りなかなか日本ではスポーツクラブは根付かないのではないのでしょうか。

そこでこれらの問題点についてどのような解決点があるのでしょうか、私の考えを述べたいと思います。

スポーツの中枢部というべき所轄機関は、まず次の問題をクリアすべきである。

A. スポーツ省の設置と組織の再編

スポーツの競技力向上は国や競技団体が行うべきであり、社会人や大学に任せた選手強化では世界では戦えない。そのための費用(予算)をもっと増やすべきである。文部科学省は、ただスポーツクラブをつくるように指導するばかりでなく、スポーツの組織改革を断行する。そのためには第一にスポーツ省が必要である。今の体系は、管轄官庁が文部科学省、厚生労働省、総務省等多岐にわたっているため、効率が非常に悪く予算の無駄遣い多く、一つにまとめることで効率が良くなりかえって構造改革が進むと考える。

また、スポーツ団体を統合し、縦割りの効率を考える。レクリエーション協会やプロ野球、大相撲等プロ、アマチュアを問わずすべての団体を把握する、組織の再編がまず行われなければならない。

B. 指導資格の整備とプロの指導認可

スポーツ指導をアマチュアが行うという考えを無くす。スポーツ指導することは大変立派な仕事で、その結果、報酬と結びつくべきであり当然の結果である。そのためにも、指導資格もないものは指導できないようにすべきである。

ドイツの場合、資格がないものが指導してけがやその他問題が生じたとき、そのクラブや教えた側は多大な賠償を求められる。オリンピックで金メダルをとろうが、資格のないものは指導できない。

少年達を指導している多くのコーチは、まず

資格を取得すべきである。

C. 各競技団体はピラミッド方式を採用する

ドイツをはじめヨーロッパ各国では、どんな競技団体でもリーグ戦形式で試合が行われ、その形式はピラミッド方式である。また、リーグ戦以外にも試合数も非常に多く組まれており、選手は試合慣れしている。体操競技でも1部から3部くらいのリーグ戦が行われており、強ければ1部に上がり、弱ければ下位リーグに下がる。あの有名なブンデスリーガとは、サッカーだけに限らずすべての競技団体に存在する。青少年や壮年の部もあり、州レベルまでのリーグ戦が組まれている。

また、ヨーロッパのクラブ会員は、本人が試合に出ることを望めばだれでもが試合に出場できる。各クラブには第1チームから第5チームくらいのチームが存在し、各チームはそのレベルにあったクラスで試合を行う。年齢別のリーグ戦等もあり、週末はほとんど試合が行われている。シーズンは9月から次の年の4月くらいまで、ホームとビジター形式で行われる。当然ホームの試合では観衆が入れば収入が増え、そのクラブは裕福となり、優秀な選手と契約できる。

日本は、各グループに分かれてリーグ戦を行っており、社会人リーグ、学生リーグ等、バラバラであり、野球は特に関東では10リーグくらい、関西では6リーグの学生野球が存在する。また各チームは1チームしか出場できないので、1軍以外の選手はほとんど試合に出場する機会がないので、素質ある選手が埋もれている可能性が高く、個性ある選手が育ちにくい環境である。だれでもが試合を経験することは選手を自覚させる。

以上、これから先何年かかろうが改革すべき問題点であり早急な議論が待たれる。

さて、日本のスポーツクラブを成功させるためには何が必要であるかを提言する。

①市町村と地方協会の役割

総合型地域スポーツクラブを作ることだ

けに奔走しているが、新しいクラブ作りでなく、各市町村は既存のスポーツグループを把握し、クラブとして認定し登録させる。合併したクラブでなく、今あるクラブや団体をいかに把握し、最大限に活用して生かしていくかが行政の仕事であり、市町村の行政や体協が調整の役目を担うべきであり、まとめ役に徹することが望まれる。そのために市町村はスポーツクラブ条例を作り、団体名、所在地、代表者、指導者を登録制にしていだでもが簡単にスポーツクラブを作り、スポーツを楽しむ雰囲気作りに徹する。

総合型クラブは、前述のように、権力の集中と利権が生まれ天下りを招き、専門家がトップになる可能性が低くなる。日本社会の欠点である閥をどうしてもつくる。また、会員間の摩擦を生むので、地域に密着したクラブづくりができていく。そこで気の合う仲間が自由にクラブを創設できるドイツ方式は最適で、同じ目的を持った仲間が集り、目標に向かっていくことが最善ではないかと考える。また、職員は市町村からの出向でなく、専門職を配置すべきである。前掲9.の項に書いたように、出向は中止すべきである。最初から、体育大学卒業等のスポーツに詳しい人材を配置することである。

ヨーロッパのスポーツクラブは、180年以上の歴史から生まれたものであり、10年やそこらでヨーロッパ型のスポーツクラブが日本に根付くことはない。今あるスポーツを生かした日本型のスポーツクラブを目指すべきである。それが地域に密着したクラブとなる。

日本のスポーツ人口は少ないのであろうか!? 答えは否である。日本人のスポーツ人口はヨーロッパに比べひけをとらないくらい多い。ただ スポーツにおける統計方法や組織力の差がでてきているのではないだろうか。各組織が統一されておらずバラバラである。

例えば、ゲートボール、ジョガー、少年野球、サッカー、ママさんバレーボール、各種

教室、エアロビクスダンス等これらの統計を加えたり、また組織立てできたらきっとドイツに匹敵するくらいのスポーツ人口があるのではないだろうか。ドイツの場合は2重3重登録が可能なので、実際の登録人口は少ない。しかし、DSBは毎年登録人口や組織を国民に公表し、スポーツの大切さを存分にアピールしている。つまり、情報公開がとてもうまいのである。

②大学運動部が将来担うべき役割

大学スポーツの衰退がさげばれて久しい。素質ある選手が大学に行かず直接プロや社会人チームに入るケースが増えており、また、少子化は大学スポーツ界にも影響を及ぼしている。そこで私は21世紀の大学のスポーツはどうあるべきかを提案したい。

*小中高生との合同練習日を週最低1回は設ける。

*参加者から会費を徴収する。

*合同練習日は部員が指導する。

*指導する部員は必ず資格をとり、参加者からの会費を指導料として支給する。決してボランティアではいけない。

大学がスポーツクラブとして門戸を開放し、特に一貫指導の面から少年の指導に立ち会うべきである。少年達は素晴らしい環境での練習や、最高の技術を習得できたり、将来大学に進学したり、日本を背負う選手が育つ可能性が大である。

ドイツの大学スポーツはすべて一般に開放され、民間のスポーツクラブと同じ運営方式になっている。例えば、x y z 大学スポーツクラブという名称でリーグ戦にも参加しているが、選手は学生だけとは限らない。

日本の場合、まず開放して教室を開いたりするところからはじめ、将来的には大学が地域と密着したスポーツクラブを作るべきである。それは社会人にも参加できるような形が最善である。また、学生が指導することに關して、体育大学、体育学部、体育学科等専門

教育系大学は、単位認定する必要がある。

まとめ

地域に密着したスポーツクラブを、どのように各地域が今後独自性を出して育成できるかが問われる。そのためには、まず各地方の行政とスポーツ団体が、組織が機能できるような改革が必要であり、住民が自分の意思でスポーツに参加できることを願っている。そのことによって、地域のコミュニティ意識は高まり、人と人とのつながり等社会がより密接に結ばれる。

参考文献

1. FISAS 1996 Zur Situation der Sportvereine im Deutschen Sportbund (報告書 ドイツスポーツ連盟におけるスポ

ーツクラブの実情)

2. Bürgerliches Gesetzbuch Zweiter Titel. Juristische Personen I Vereine § 21 Nichtwirtschaftlicher Verein (ドイツ民法 第2章 第1節 第21条 非営利団体)

3. <http://www.dsb.de> DSB ホームページ
4. <http://www.mext.go.jp> 文部科学省ホームページ

5. <http://www.japan-sports.or.jp/about/org.html> 日本体育協会ホームページ

以上 この文章に対する反論、ご意見をお待ちしています。

e-mail s.im722@soleil.ocn.ne.jp 宛にお願いします。

会費納入のお願いと住所シールの見方

～会費未納の方へ～

日本大学桜樹会の収入のほとんどが会費によるものです。ご多忙とは存じますが、お手すきの時にご入金いただきますようご依頼申し上げます。なお、お振込の際には、必ず振込用紙の各欄に詳細をはっきりとご記入下さるようお願い申し上げます。

<住所シールの見方>

(34-06) 君嶋孝之様

→個人コード番号(体操部34回卒)

2001年度分まで納入済: 00/12/13 付入金

→2001年度分までが、2000年12月13日付で入金されています。

平成15年度分の会費について

正会員の年会費については、卒業後20年以上の場合は6,000円、同10年以上20年未満の場合は4,000円、同10年未満の場合は2,000円となっています。よって平成15年度分の会費は次のようになります。

1～24回卒 ; 6,000円

25～34回卒 ; 4,000円

35～44回卒 ; 2,000円

【郵便振替口座番号】00140-5-111495 日本大学桜樹会

平成 14 年度 事業および行事報告

月	日	事業および行事内容	場 所
4	20 27	第1回役員会 濱田顧問米寿を祝う会	日大文理 新宿センチュリーハイアット
5	2 17～19	会報36号発行・発送 東日本インカレ（応援）	山梨・小瀬スポーツ公園
6			
7	4～6 19 28～8/1	アジア大会代表決定兼NHK杯 早田先生紫綬褒章受章祝賀会 全日本インカレ（応援・懇親会）	東京体育館 京王プラザ 鳥取；米子市産業体育館
8	5～7	インターハイ（懇親会）	茨城；笠松運動公園
9	6～8	社会人（選手派遣・応援）	福岡；九州共立大福原記念館
10	1～9 4～6 28～30	アジア大会 関東学生新人・交流（応援） 国体（懇親会）	韓国；釜山 神奈川県立体育センター 高知；青少年センター体育館
11	7～10	全日本（応援・懇親会）	静岡；ツインメッセ静岡
12	7～8	忘年会（有志）	熱海温泉「ホテル貫一」
1	26	新年会（有志）	新宿；栄寿司二号店
3	23 29	第2回役員会（会計監査作業） 平成14年度総会・懇親会	日大文理 サンルート東京



高知国体桜樹懇親会

平成14年度 日本大学体操部・日大桜樹クラブ競技会成績まとめ

- 1) 環太平洋選手権 (バンクーバー ; 2002/4/30-5/5)
代表 : 若山卓 (37回卒)
- 2) アジア・世界選手権代表選考会 (東京 ; 2002/7/5-6)
- 3) 東日本学生選手権大会 (山梨・小瀬 ; 5/17~19)
 - ・男子団体3位 ; 個人総合2位→芳村裕生 (3年)
 - ・女子団体5位
- 4) 全日本インカレ (米子 ; 7/28~8/1)
 - ・男子団体4位
 - ・女子団体7位
- 5) 全日本社会人選手権大会 (福岡 ; 9/6~8) ; 「日大桜樹クラブ」7名派遣
 - ・2部男子団体総合 ; 1位
 - ・2部男子個人総合 ; 吉田義経 (37回卒) …7位、門脇年宏 (41回卒) …8位、
島田利夫 (27回卒) …13位、君嶋孝之 (34回卒) …27位、
渡辺稔宜 (41回卒) …28位、石口雅也 (35回卒) …58位
 - ・2部女子個人総合 ; 伊藤佳代子 (36回卒) …2位
- 6) 関東学生新人・交流選手権大会 (善行 ; 2002/10/4~6)
新人戦
 - ・男子団体3位
 - ・女子団体4位
- 7) フレンチオープン国際 (パリ ; 2002/10/19~20)
代表 : 芳村裕生 (3年) ---平行棒4位
- 8) 全日本選手権大会 (静岡 ; 2002/11/8~10)
 - ・男子団体 ; 日本大学…団体5位

次ページ以降、詳細成績

作成 遠藤幸一 25回卒
長澤郁子 31回卒

2002 環太平洋体操競技選手権大会
男子シニア団体

バンクーバー

順	チーム名	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	鉄棒	合計
1	アメリカ	26.650	27.650	28.100	28.150	27.350	26.675	164.575
2	日本	26.600	25.950	25.850	28.025	27.450	25.350	159.225
3	オーストラリア	26.500	25.650	26.400	27.575	25.350	26.350	157.825

男子シニア個人成績

2002/5/5

順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	P. HAMM	USA	9.400	9.250	9.600	9.450	9.150	9.475	56.325
2	B. McCLURE	USA	8.550	9.250	9.100	9.325	9.000	9.250	54.475
3	Yang. WEI	CHN	8.950	9.750	9.350	9.400	9.300	7.450	54.200
4	S. TOWNSEND	USA	8.700	9.150	9.400	9.375	9.200	7.950	53.775
5	D. ISTRIA	AUS	8.800	8.400	9.550	9.300	8.500	9.125	53.675
6	小川泰弘	JPN	8.750	9.050	9.000	9.450	9.350	8.050	53.650
39期	8 若山 卓	JPN	8.900	8.600	8.300	9.425	8.550	8.850	52.625

男子シニア種目別

順	選手名	所属	ゆか
39期	6 若山 卓	JPN	8.650



全日本インカレ懇親会

2002 東日本学生選手権大会		小瀬スポーツ公園体育館						2002/5/17-19	
男子	順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	順天堂大学	44.350 ¹	46.725 ¹	44.450 ¹	45.550 ¹	46.150 ¹	44.550 ¹	271.775
	2	日本体育大学	44.700 ¹	44.450 ¹	43.550 ¹	45.950 ¹	46.925 ¹	45.450 ¹	271.025
	3	日本大学	44.000 ¹	43.600 ¹	44.300 ¹	44.850 ¹	45.050 ¹	43.200 ¹	265.000

個人成績

学年	順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	1	富田 洋之	順天堂大学	9.100 ¹	9.450 ¹ 3	9.500 ¹ 1	9.250 ¹	9.800 ¹ 1	8.550 ¹	55.650
3年	2	芳村 裕生	日本大学	9.400 ¹ 2	9.050 ¹	9.375 ¹ 4	9.200 ¹ 6	9.400 ¹ 5	8.900 ¹	55.325
4年	3	水島 寿思	日本体育大学	9.350 ¹ 3	9.500 ¹ 2	8.750 ¹	9.250 ¹	9.500 ¹ 3	8.850 ¹	55.200
3年	17	若松 伸	日本大学	8.600 ¹	8.700 ¹	8.600 ¹	8.950 ¹	9.000 ¹	8.600 ¹	52.450
4年	19	佐藤 佑介	日本大学	8.550 ¹	9.300 ¹ 4	8.250 ¹	8.750 ¹	8.700 ¹	8.650 ¹	52.200
4年	22	能勢 龍二	日本大学	8.450 ¹	7.900 ¹	9.425 ¹ 3	9.050 ¹	8.900 ¹	8.300 ¹	52.025
4年	23	古市 正樹	日本大学	8.750 ¹	8.650 ¹	8.650 ¹	8.900 ¹	8.500 ¹	8.400 ¹	51.850
4年	32	野村 俊介	日本大学	8.350 ¹	8.000 ¹	9.000 ¹	8.850 ¹	8.450 ¹	8.150 ¹	50.800
1年	34	飯嶋 颯	日本大学	8.650 ¹	8.000 ¹	8.100 ¹	8.800 ¹	8.350 ¹	8.500 ¹	50.400
3年	38	田崎 裕祐	日本大学	8.700 ¹	6.750 ¹	8.250 ¹	8.700 ¹	9.050 ¹	8.650 ¹	50.100
2年	40	森 光大	日本大学	8.350 ¹	8.500 ¹	8.150 ¹	8.700 ¹	8.200 ¹	8.050 ¹	49.950

2002 東日本学生選手権大会		小瀬スポーツ公園体育館			2002/5/17-19		
女子	順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	青森大学	45.800 ¹	45.125 ¹	44.800 ¹	46.000 ¹	181.725
	2	東京女子体育大学	43.525 ¹	44.550 ¹	42.550 ¹	44.400 ¹	175.025
	3	日本体育大学	42.625 ¹	44.325 ¹	44.325 ¹	44.325 ¹	173.200
	4	筑波大学	43.275 ¹	43.300 ¹	41.025 ¹	42.050 ¹	169.650
	5	日本大学	43.375 ¹	40.850 ¹	41.450 ¹	43.100 ¹	168.775

個人成績

学年	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1年	1	田中 綾子	青森大学	9.450 ¹ 1	9.350 ¹	9.225 ¹ 3	9.350 ¹ 2	37.375
1年	2	真辺 絢	青森大学	9.550 ¹ 2	9.575 ¹ 2	8.600 ¹	9.475 ¹ 1	37.200
4年	3	北村 彩子	東京学芸大学	9.275 ¹ 3	9.450 ¹ 3	8.750 ¹	9.350 ¹ 3	36.825
2年	14	錦井 智子	日本大学	8.600 ¹	8.400 ¹	9.000 ¹ 6	8.750 ¹	34.750
2年	29	小野 鮎子	日本大学	9.100 ¹ 6	7.950 ¹	7.850 ¹	8.850 ¹	33.750
3年	36	山本加奈絵	日本大学	8.400 ¹	8.450 ¹	8.000 ¹	8.600 ¹	33.450
4年	40	日向彩百合	日本大学	8.975 ¹	7.500 ¹	8.200 ¹	8.550 ¹	33.225
3年	45	山北恵理子	日本大学	8.250 ¹	8.200 ¹	8.000 ¹	8.300 ¹	32.750
4年	45	岡崎 恵美	日本大学	8.300 ¹	7.850 ¹	8.250 ¹	8.350 ¹	32.750
1年	47	田崎 晶子	日本大学	8.450 ¹	7.450 ¹	8.400 ¹	8.300 ¹	32.600
1年	53	村田麻衣子	日本大学	8.825 ¹	7.750 ¹	7.150 ¹	8.250 ¹	31.975
4年	68	上川みゆき	日本大学	8.000 ¹	8.150 ¹	7.000 ¹	7.600 ¹	30.075

2002
男子

第14回アジア競技大会・第36回世界体操競技選手権大会日本代表決定競技会
個人成績

東京体育館(東京)
2002/7/5-6

	順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日/2日	総計
	1	富田 洋之	順天堂大学	9.000 9.300	9.500 9.575	9.400 9.550	9.375 9.400	9.600 9.400	9.550 9.650	56.425 56.875	113.300
	2	塚原 直也	朝日生命	9.175 8.750	9.575 9.600	9.150 9.250	9.350 9.400	9.350 9.600	9.250 9.225	55.850 55.825	111.675
	3	鹿島 文博	順天堂大学	9.125 9.250	9.750 9.750	8.600 8.550	9.075 9.100	9.350 9.500	9.325 9.450	55.225 55.600	110.825
	4	水鳥 寿思	日本体育大学	9.000 8.925	8.750 9.250	8.950 8.950	9.350 9.375	9.400 9.150	9.300 9.350	54.750 55.000	109.750
	5	小川 泰弘	徳洲会体操クラブ	8.650 8.600	8.975 9.050	9.150 9.250	9.100 9.150	9.550 9.550	9.375 9.225	54.800 54.825	109.625
	6	原田 睦巳	セントラルスポーツ	8.875 9.200	9.025 8.950	9.200 8.800	9.400 9.475	8.950 9.150	9.375 8.950	54.825 54.525	109.350
38期	8	林 弘策	大翔会体操クラブ	8.675 8.775	9.100 9.375	8.850 9.000	9.300 9.350	8.550 9.000	9.175 9.200	53.650 54.700	108.350
43期	15	鏡 尚志	朝日生命体操クラブ	8.750 9.025	8.700 9.350	8.650 8.750	9.200 9.275	8.500 8.400	9.300 8.700	53.100 53.500	106.600
3年	16	芳村 裕生	日本大学	9.000 8.300	8.600 8.350	9.400 9.150	8.900 9.275	9.250 9.500	8.750 8.100	53.900 52.675	106.575
35期	26	増田 宏正	大翔会体操クラブ	8.400 8.325	8.475 8.625	9.000 9.000	9.200 9.225	8.750 8.550	8.550 9.000	52.375 52.725	105.100
39期	31	若山 卓	大翔会体操クラブ	8.350 9.200	8.350 7.550	8.500 8.600	9.275 9.250	8.750 8.900	8.150 7.950	51.375 51.450	102.825
3年	32	若松 伸	日本大学	7.900 8.200	7.400 8.050	8.450 8.850	9.050 8.900	9.150 9.100	8.300 8.325	50.250 51.425	101.675

2002
女子

第14回アジア競技大会・第36回世界体操競技選手権大会日本代表決定競技会
個人成績

東京体育館(東京)
2002/7/5-6

	順	選手名	所 属	跳馬	阪道い平行棒	平均台	ゆか	1日/2日	総計
	1	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	8.950 9.000	8.925 8.775	8.225 8.675	9.325 9.425	35.425 35.875	71.300
	2	溝口 絵里加	朝日生命体操クラブ	8.750 8.950	9.075 9.100	8.325 8.825	8.675 8.625	34.825 35.500	70.325
	3	佐原 礼香	リベラル体操クラブ	8.900 8.900	7.625 8.875	8.875 8.375	9.075 8.775	34.475 34.925	69.400

2002 第41回NHK杯
男子

東京体育館(東京)
2002/7/5-6

順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日/2日	総計	
1	富田 洋之	順天堂大学	9.000	9.500	9.400	9.375	9.600	9.550	56.425	113.300	
			9.300	9.575	9.550	9.400	9.400	9.650	56.875		
2	塚原 直也	朝日生命	9.175	9.575	9.150	9.350	9.350	9.250	55.850	111.675	
			8.750	9.600	9.250	9.400	9.600	9.225	55.825		
3	鹿島 文博	順天堂大学	9.125	9.750	8.600	9.075	9.350	9.325	55.225	110.825	
			9.250	9.750	8.550	9.100	9.500	9.450	55.600		
4	水島 寿思	日本体育大学	9.000	8.750	8.950	9.350	9.400	9.300	54.750	109.750	
			8.925	9.250	8.950	9.375	9.150	9.350	55.000		
5	小川 泰弘	徳洲会体操クラブ	8.650	8.975	9.150	9.100	9.550	9.375	54.800	109.625	
			8.600	9.050	9.250	9.150	9.550	9.225	54.825		
6	原田 睦巳	セントラルスポーツ	8.875	9.025	9.200	9.400	8.950	9.375	54.825	109.350	
			9.200	8.950	8.800	9.475	9.150	8.950	54.525		
38期	8	林 弘策	大翔会体操クラブ	8.675	9.100	8.850	9.300	8.550	9.175	53.650	108.350
				8.775	9.375	9.000	9.350	9.000	9.200	54.700	
43期	15	鏡 尚志	朝日生命体操クラブ	8.750	8.700	8.650	9.200	8.500	9.300	53.100	106.600
				9.025	9.350	8.750	9.275	8.400	8.700	53.500	
3年	16	芳村 裕生	日本大学	9.000	8.600	9.400	8.900	9.250	8.750	53.900	106.575
				8.300	8.350	9.150	9.275	9.500	8.100	52.675	
35期	26	増田 宏正	大翔会体操クラブ	8.400	8.475	9.000	9.200	8.750	8.550	52.375	105.100
				8.325	8.625	9.000	9.225	8.550	9.000	52.725	
39期	31	若山 卓	大翔会体操クラブ	8.350	8.350	8.500	9.275	8.750	8.150	51.375	102.825
				9.200	7.550	8.600	9.250	8.900	7.950	51.450	
3年	32	若松 伸	日本大学	7.900	7.400	8.450	9.050	9.150	8.300	50.250	101.675
				8.200	8.050	8.850	8.900	9.100	8.325	51.425	

2002 第41回NHK杯
女子

東京体育館(東京)
2002/7/5-6

順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	1日/2日	総計
1	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	8.950	8.925	8.225	9.325	35.425	71.300
			9.000	8.775	8.675	9.425	35.875	
2	溝口 絵里加	朝日生命体操クラブ	8.750	9.075	8.325	8.675	34.825	70.325
			8.950	9.100	8.825	8.625	35.500	
3	佐原 礼香	リベラル体操クラブ	8.900	7.625	8.875	9.075	34.475	69.400
			8.900	8.875	8.375	8.775	34.925	

2002

全日本学生選手権大会

鳥取・米子市産業体育館

2002/7/29-8/1

男子	順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	順天堂大学	44.475 ¹	46.475 ¹	45.325 ¹	46.725 ¹	46.900 ¹	46.050 ¹	275.950
	2	日本体育大学	44.550 ¹	44.350 ¹	45.100 ¹	46.125 ¹	46.900 ¹	46.850 ¹	273.875
	3	仙台大学	44.400 ¹	43.550 ¹	45.275 ¹	45.550 ¹	45.250 ¹	44.450 ¹	268.475
	4	日本大学	43.650 ¹	44.225 ¹	43.750 ¹	44.800 ¹	46.200 ¹	43.950 ¹	266.575

男子 個人成績

学年	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	1	富田 洋之	順天堂大学	9.375 ¹	9.575 ¹	9.600 ¹	9.400 ¹	9.600 ¹	8.950 ¹	56.500
4年	2	鹿島 文博	順天堂大学	8.750 ¹	9.800 ¹	8.750 ¹	9.350 ¹	9.550 ¹	9.450 ¹	55.650
4年	3	水鳥 寿思	日本体育大学	9.150 ¹	8.450 ¹	8.800 ¹	9.300 ¹	9.600 ¹	9.700 ¹	55.000
3年	4	芳村 裕生	日本大学	9.150 ¹	8.350 ¹	9.450 ¹	9.200 ¹	9.500 ¹	9.300 ¹	54.950
4年	20	佐藤 佑介	日本大学	8.350 ¹	9.475 ¹	8.550 ¹	8.750 ¹	9.150 ¹	8.850 ¹	53.125
4年	21	古市 正樹	日本大学	9.100 ¹	8.500 ¹	9.300 ¹	8.900 ¹	8.800 ¹	8.500 ¹	53.100
3年	25	若松 伸	日本大学	8.500 ¹	8.850 ¹	8.200 ¹	9.100 ¹	9.350 ¹	8.850 ¹	52.850
3年	35	田崎 裕祐	日本大学	8.550 ¹	8.750 ¹	8.250 ¹	8.700 ¹	9.400 ¹	8.450 ¹	52.100
2年	38	塚本 泰裕	日本大学	8.400 ¹	8.450 ¹	8.700 ¹	8.900 ¹	8.750 ¹	8.600 ¹	51.800
2年	45	森 光大	日本大学	8.550 ¹	8.550 ¹	8.400 ¹	8.800 ¹	8.750 ¹	8.250 ¹	51.300
1年	52	飯嶋 顕	日本大学	8.350 ¹	8.650 ¹	8.000 ¹	8.850 ¹	8.550 ¹	8.450 ¹	50.850
4年	60	宮原 克典	日本大学	8.400 ¹	8.600 ¹	7.800 ¹	8.650 ¹	8.550 ¹	8.400 ¹	50.400
4年	66	能勢 龍二	日本大学	7.800 ¹	7.600 ¹	8.900 ¹	9.200 ¹	8.900 ¹	7.750 ¹	50.150
1年	79	江原 嘉一	日本大学	8.400 ¹	8.000 ¹	7.900 ¹	8.850 ¹	7.850 ¹	8.150 ¹	49.150

男子 個人総合

学年	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	1	富田 洋之	順天堂大学	9.350 ¹	9.150 ¹	9.600 ¹	9.200 ¹	9.725 ¹	9.500 ¹	56.525
4年	2	水鳥 寿思	日本体育大学	9.100 ¹	9.500 ³	9.025 ¹	9.325 ¹	9.500 ²	9.700 ¹	56.150
4年	3	鹿島 文博	順天堂大学	9.200 ¹	9.800 ¹	8.600 ¹	9.150 ¹	9.200 ¹	9.525 ³	55.475
3年	7	芳村 裕生	日本大学	9.150 ¹	8.050 ¹	8.950 ¹	9.000 ¹	9.250 ¹	9.400 ¹	53.800
4年	17	佐藤 佑介	日本大学	8.400 ¹	9.450 ⁴	8.750 ¹	8.700 ¹	8.900 ¹	8.750 ¹	52.950
3年	20	田崎 裕祐	日本大学	8.450 ¹	8.850 ¹	8.700 ¹	8.700 ¹	8.900 ¹	9.000 ¹	52.600
4年	24	古市 正樹	日本大学	8.600 ¹	9.000 ¹	9.250 ⁶	8.800 ¹	7.950 ¹	8.550 ¹	52.150
3年	28	若松 伸	日本大学	8.500 ¹	8.400 ¹	9.000 ¹	8.950 ¹	8.800 ¹	8.000 ¹	51.650

※跳馬種目別は2本跳越の平均

2002

全日本学生選手権大会

鳥取・米子市産業体育館

2002/7/29-8/1

女子	順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	青森大学	43.475 ¹	42.300 ¹	41.675 ¹	42.400 ¹	169.850
	2	東京女子体育大学	41.900 ¹	39.800 ¹	40.050 ¹	39.275 ¹	161.025
	3	武庫川女子大学	43.100 ¹	39.700 ¹	38.650 ¹	39.475 ¹	160.925
	7	日本大学	40.950 ¹	36.550 ¹	39.900 ¹	38.250 ¹	155.675

女子 個人成績

学年	順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1年	1	真辺 絢	青森大学	9.250 ¹	8.950 ¹	8.400 ¹	8.975 ¹	35.575
1年	2	田中 綾子	青森大学	9.325 ¹	8.650 ¹	8.100 ¹	8.625 ¹	34.700
2年	3	中瀬 直子	青森大学	8.650 ¹	8.750 ¹	8.375 ¹	8.800 ¹	34.575
4年	13	日向彩百合	日本大学	8.500 ¹	7.450 ¹	8.150 ¹	7.975 ¹	32.075
2年	24	錦井 智子	日本大学	8.000 ¹	7.700 ¹	7.950 ¹	7.850 ¹	31.500
2年	33	小野 鮎子	日本大学	8.400 ¹	7.250 ¹	7.400 ¹	7.875 ¹	30.925
3年	45	山北恵理子	日本大学	7.900 ¹	7.250 ¹	8.000 ¹	7.000 ¹	30.150
3年	46	山本加奈絵	日本大学	8.100 ¹	6.900 ¹	7.700 ¹	7.375 ¹	30.075
4年	47	岡崎 恵美	日本大学	7.950 ¹	6.800 ¹	8.100 ¹	7.200 ¹	30.050
4年	56	上川みゆき	日本大学	7.350 ¹	7.700 ¹	7.300 ¹	7.250 ¹	29.600
1年	58	村田麻衣子	日本大学	7.850 ¹	6.150 ¹	8.025 ¹	7.400 ¹	29.425
1年	77	田崎 晶子	日本大学	8.050 ¹	4.100 ¹	7.950 ¹	7.150 ¹	27.250

女子 個人総合

学年	順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1年	1	田中 綾子	青森大学	9.212 ¹	8.375 ³	8.725 ¹	8.675 ¹	34.987
1年	2	真辺 絢	青森大学	9.187 ²	8.050 ¹	8.550 ³	9.125 ¹	34.912
2年	3	中瀬 直子	青森大学	8.537 ¹	8.750 ¹	8.650 ²	8.700 ³	34.637
4年	27	日向彩百合	日本大学	8.562 ⁶	5.850 ¹	7.075 ¹	8.000 ¹	29.487
2年	29	錦井 智子	日本大学	7.837 ¹	5.600 ¹	7.775 ¹	7.600 ¹	28.812

2002 全日本社会人選手権大会 1部 九州共立大学 (福岡) 2002/9/6-8

男子	順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	大翔会体操クラブ	44.950 [!]	43.650	46.400 [!]	46.475 [!]	46.100 [!]	46.550 [!]	274.125
	2	徳洲会体操クラブ	44.500 [!]	45.100	47.000 [!]	46.050 [!]	45.400 [!]	45.150 [!]	273.200
	3	茗溪クラブ	42.800 [!]	44.450	44.800 [!]	44.950 [!]	45.150 [!]	41.950 [!]	264.100

個人総合

	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	齊藤 良聖	大翔会体操クラブ	9.000 [!]	9.550 [!]	9.300 [!]	9.300 [!]	9.500 [!]	9.650 [!]	56.300
	2	塚原 直也	朝日生命	9.275 [!]	8.700 [!]	9.450 [!]	9.300 [!]	9.500 [!]	9.200 [!]	55.425
	3	折川 義志	徳洲会体操クラブ	8.950 [!]	9.250 [!]	9.400 [!]	9.275 [!]	9.475 [!]	8.950 [!]	55.300
	3	佐藤 大輝	徳洲会体操クラブ	9.200 [!]	8.950 [!]	9.550 [!]	9.150 [!]	9.250 [!]	9.200 [!]	55.300
38期	6	林 弘貴	大翔会体操クラブ	9.100 [!]	9.250 [!]	9.350 [!]	9.250 [!]	9.350 [!]	8.900 [!]	55.200
43期	13	磯 尚志	朝日生命体操クラブ	8.400 [!]	9.000 [!]	8.700 [!]	9.200 [!]	8.800 [!]	9.550 [!]	53.650
39期	16	若山 卓	大翔会体操クラブ	9.075 [!]	8.300 [!]	8.700 [!]	9.150 [!]	9.150 [!]	9.000 [!]	53.375
43期	17	太田 輝	高知県体操協会	8.800 [!]	9.050 [!]	9.200 [!]	8.900 [!]	8.850 [!]	8.500 [!]	53.300
41期	19	島田 健次	カワイ体操クラブ	8.300 [!]	8.950 [!]	8.500 [!]	8.800 [!]	9.225 [!]	9.200 [!]	52.975
41期	33	平本 行人	FANTASIA SQUARE	8.700 [!]	7.500 [!]	7.700 [!]	9.200 [!]	8.700 [!]	8.900 [!]	50.700
35期	49	増田 聖正	大翔会体操クラブ	0.000 [!]	8.700 [!]	9.300 [!]	8.800 [!]	8.950 [!]	9.100 [!]	44.850

2002 全日本社会人選手権大会 2部 九州共立大学 (福岡) 2002/9/6-8

男子	順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	日大櫻樹クラブ	27.650 [!]	27.550 [!]	27.300 [!]	27.900 [!]	28.300 [!]	28.100 [!]	166.800
	2	鯖江ビタリクラブ	27.900 [!]	27.650 [!]	27.300 [!]	27.900 [!]	27.050 [!]	27.500 [!]	165.300
	3	加茂体操クラブ	27.200 [!]	26.550 [!]	26.200 [!]	28.000 [!]	27.250 [!]	27.850 [!]	163.050

個人総合

	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
36期	1	林 勇樹	大和田石英体操クラブ	9.400 [!]	9.600 [!]	9.400 [!]	9.300 [!]	9.700 [!]	9.450 [!]	56.850
39期	2	小林 正明	朝日生命体操クラブ	9.150 [!]	9.400 [!]	9.300 [!]	9.650 [!]	9.700 [!]	9.600 [!]	56.800
	3	小野 武彦	青海町体操クラブ	9.350 [!]	9.400 [!]	9.550 [!]	9.300 [!]	9.550 [!]	9.450 [!]	56.600
43期	4	木村 光	T.O WITH Y'S倶楽部	9.250 [!]	9.550 [!]	9.600 [!]	9.300 [!]	9.450 [!]	9.300 [!]	56.450
37期	7	吉田 義経	日大櫻樹クラブ	9.300 [!]	9.000 [!]	9.350 [!]	9.550 [!]	9.350 [!]	9.450 [!]	56.000
21期	8	門脇 年宏	日大櫻樹クラブ	9.250 [!]	9.350 [!]	9.000 [!]	9.550 [!]	9.600 [!]	9.350 [!]	55.900
47期	13	島田 利夫	日大櫻樹クラブ	9.050 [!]	9.200 [!]	8.700 [!]	8.900 [!]	9.350 [!]	9.300 [!]	54.500
43期	19	山田 真二	熊本YMCA	9.000 [!]	9.150 [!]	9.250 [!]	9.100 [!]	8.600 [!]	9.200 [!]	54.300
38期	21	町田 知己	加茂体操クラブ	9.100 [!]	8.900 [!]	8.880 [!]	9.200 [!]	9.050 [!]	9.200 [!]	54.250
34期	27	君嶋 孝之	日大櫻樹クラブ	9.100 [!]	8.600 [!]	8.950 [!]	8.650 [!]	9.200 [!]	9.250 [!]	53.750
41期	28	渡辺 健寛	日大櫻樹クラブ	8.850 [!]	8.900 [!]	8.700 [!]	9.000 [!]	9.200 [!]	9.050 [!]	53.700
26期	32	川畑 龍雄	兵庫フェニックス	8.950 [!]	8.800 [!]	8.700 [!]	8.600 [!]	9.150 [!]	9.250 [!]	53.450
36期	44	原根 功	大和田石英体操クラブ	9.000 [!]	8.550 [!]	8.650 [!]	9.200 [!]	8.450 [!]	8.950 [!]	52.800
35期	58	石口 雅也	日大櫻樹クラブ	8.550 [!]	8.500 [!]	8.800 [!]	8.650 [!]	8.850 [!]	8.600 [!]	51.950

2002 全日本社会人選手権大会 1部 九州共立大学 (福岡) 2002/9/6-8

女子	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	清水 幹子	茗溪クラブ	9.050 [!]	8.100 [!]	8.050 [!]	7.100 [!]	
	2	小池 尚美	藤村クラブ	8.800 [!]	7.200 [!]	7.750 [!]	7.950 [!]	

2002 全日本社会人選手権大会 2部 九州共立大学 (福岡) 2002/9/6-8

女子	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	江里口奈緒	藤村クラブ	9.000 [!]	8.500 [!]	8.750 [!]	9.050 [!]	35.300
36期	2	伊藤佳代子	日大櫻樹クラブ	8.400 [!]	7.700 [!]	7.150 [!]	7.750 [!]	31.000
	3	緒方真美子	藤村クラブ	8.200 [!]	7.500 [!]	6.750 [!]	8.500 [!]	30.950

2002 関東学生交流大会

神奈川県立体育センター

2002/10/4-6

男子 個人成績

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
2	1	園師 弘樹	日本体育大学	8.700 ¹ 2	8.600 ¹ 1	8.900 ¹ 1	8.700 ¹	8.650 ¹ 3	8.450 ¹ 3	52.000
3	2	西村 祥	日本大学	8.150 ¹	8.350 ¹ 2	8.750 ¹ 3	8.950 ¹ 4	8.950 ¹ 1	8.450 ¹ 3	51.600
3	2	奥澤 秀人	日本体育大学	8.800 ¹ 1	7.650 ¹	8.800 ¹ 2	8.750 ¹	8.600 ¹	9.000 ¹ 1	51.600
3	4	松谷 育英	日本大学	8.200 ¹	7.900 ¹	8.700 ¹ 4	9.250 ¹ 1	8.350 ¹ 6	8.500 ¹ 2	50.900
2	9	須藤 大地	日本大学	7.850 ¹	7.350 ¹	8.500 ¹ 5	8.500 ¹	8.300 ¹	8.200 ¹	48.700
2	10	徳永 哲人	日本大学	8.350 ¹	7.550 ¹	8.100 ¹	8.500 ¹	7.250 ¹	8.450 ¹ 3	48.200
2	12	笹村 昌宏	日本大学	8.100 ¹	7.600 ¹	8.000 ¹	8.800 ¹	8.000 ¹	7.650 ¹	48.150
2	14	佐伯 良治	日本大学	7.800 ¹	5.850 ¹	7.750 ¹	8.800 ¹	8.000 ¹	8.350 ¹ 6	46.550

2002 関東学生交流大会

神奈川県立体育センター

2002/10/4-6

女子 個人成績

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	1	藤岡 麻央	東京女子体育大学	8.700 ¹	8.550 ¹	8.900 ¹ 1	8.650 ¹ 3	34.800
2	2	寺岡久美子	東京女子体育大学	9.100 ¹ 2	9.000 ¹ 1	7.950 ¹	8.600 ¹	34.650
3	3	中村 有希	日本体育大学	9.200 ¹ 1	8.400 ¹	8.375 ¹	8.600 ¹	34.575
3年	14	松本 陽奈	日本大学	7.350 ¹	5.500 ¹	8.250 ¹ 3	7.700 ¹	28.800

2002 関東学生新人大会

神奈川県立体育センター

2002/10/4-6

男子 個人総合

順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	順天堂大学	34.750 ¹	35.050 ¹	34.250 ¹	35.500 ¹	36.450 ¹	35.750 ¹	211.750
2	日本体育大学	34.350 ¹	33.700 ¹	34.450 ¹	36.900 ¹	35.450 ¹	34.550 ¹	209.400
3	日本大学	34.650 ¹	35.100 ¹	33.650 ¹	35.700 ¹	33.850 ¹	34.200 ¹	207.150

個人総合

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1年	1	馬場 亮輔	早稲田大学	8.700 ¹	9.150 ¹ 2	8.950 ¹	9.300 ¹	8.950 ¹	9.000 ¹	54.050
1年	2	楠 結朗	筑波大学	8.850 ¹	9.050 ¹	9.300 ¹ 3	8.900 ¹	9.450 ¹ 2	8.100 ¹	53.650
1年	3	速見 佑斗	日本体育大学	8.800 ¹	8.600 ¹	9.350 ¹ 2	9.400 ¹ 1	8.650 ¹	8.650 ¹	53.450
1年	5	飯嶋 颯	日本大学	8.900 ¹ 2	9.200 ¹ 1	8.700 ¹ 5	8.900 ¹	8.700 ¹	8.800 ¹	53.200
1年	11	山口 悠樹	日本大学	8.750 ¹	8.450 ¹	8.350 ¹	9.150 ¹ 6	8.850 ¹	8.400 ¹	51.950
1年	13	江原 嘉一	日本大学	8.250 ¹	8.900 ¹ 6	8.300 ¹	8.850 ¹	7.950 ¹	8.700 ¹	50.950
1年	14	清水 昭幸	日本大学	8.700 ¹	8.550 ¹	8.100 ¹	8.800 ¹	8.350 ¹	7.600 ¹	50.100
1年	29	巻島晃一郎	日本大学	7.750 ¹	5.650 ¹	7.500 ¹	8.300 ¹	7.750 ¹	8.100 ¹	45.050
1年	30	伊藤 昇	日本大学	8.300 ¹	6.300 ¹	6.750 ¹	8.450 ¹	7.200 ¹	7.400 ¹	44.400
2年	39	市川 哲史	日本大学	8.000 ¹	4.550 ¹	7.000 ¹	8.100 ¹	7.450 ¹	7.950 ¹	43.050
1年	42	城崎 大樹	日本大学	8.300 ¹	0.000 ¹	8.300 ¹	8.700 ¹	7.900 ¹	8.300 ¹	41.500
3年	55	吉野 匠	日本大学	5.550 ¹	4.050 ¹	6.200 ¹	6.600 ¹	6.100 ¹	4.600 ¹	33.100

2002 関東学生新人大会

神奈川県立体育センター

2002/10/4-6

女子 個人総合

順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	35.550 ¹	34.550 ¹	35.275 ¹	36.500 ¹	141.875
2	東京女子体育大学	33.900 ¹	34.650 ¹	34.550 ¹	36.100 ¹	139.200
3	国士館大学	34.500 ¹	30.600 ¹	32.700 ¹	33.850 ¹	131.650
4	日本大学	34.100 ¹	30.950 ¹	29.900 ¹	34.650 ¹	129.600

個人総合

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1年	1	萩山 瞳	日本体育大学	9.500 ¹ 1	9.350 ¹ 1	9.100 ¹ 3	9.050 ¹	37.000
1年	2	川村 友佳	順天堂大学	9.025 ¹	8.800 ¹	9.350 ¹ 1	9.450 ¹ 1	36.625
1年	3	洪井あゆみ	国士館大学	9.050 ¹	9.250 ¹ 2	8.750 ¹	8.950 ¹	36.000
1年	12	村田麻衣子	日本大学	8.700 ¹	8.200 ¹	8.300 ¹	9.050 ¹	34.250
1年	14	田崎 晶子	日本大学	8.600 ¹	8.200 ¹	8.250 ¹	8.750 ¹	33.800
1年	22	松永百合江	日本大学	8.500 ¹	7.300 ¹	7.150 ¹	8.600 ¹	31.550
1年	28	和泉 恵	日本大学	8.300 ¹	7.250 ¹	6.200 ¹	8.250 ¹	30.000

ゆか

順位	選手名	国	得点
1	DEFERR	ESP	9.688
2	DRAGULESCU	ROM	9.638
3	JOVTCHEV	BUL	9.600
4	KARBANENKO	FRA	9.413
5	HAMM	USA	9.113
6	SHEWFELT	CAN	8.800

あん馬

順位	選手名	国	得点
1	SUCIU	ROM	9.700
2	HUANG	CHN	9.688
3	FEKETE	HUN	9.375
4	CAMPOS	POR	9.287
5	DAEPEN	SUI	8.910
6	URZICA	ROM	8.888

つり輪

順位	選手名	国	得点
1	JOVTCHEV	BUL	9.688
2	COPPOLINO	ITA	9.638
3	KURBANBAYEV	KAZ	9.625
3	CSOLLANY	HUN	9.625
3	HUANG	CHN	9.625
6	LU	CHN	9.550

跳馬

順位	選手名	国	得点
1	BLANIK	POL	9.675
2	DRAGULESCU	ROM	9.637
3	SHEWFELT	CAN	9.481
4	SUCIU	ROM	9.431
5	GAL	HUN	9.425
6	LU	CHN	9.281

平行棒

順位	選手名	国	得点
1	HUANG	CHN	9.750
2	LI	CHN	9.737
3	CUCHERAT	FRA	9.638
4	芳村裕生	JPN	9.612
5	BONDARENKO	RUS	9.563
6	SINKEVICH	BLR	9.537

鉄棒

順位	選手名	国	得点
1	HAMM	USA	9.612
2	CASSINA	ITA	9.538
3	JELTKOV	CAN	9.225
4	BONDARENKO	RUS	9.150
5	GORBATCHEV	KAZ	8.250
6	SCHWEIZER	SUI	6.425

3年



有志忘年会

2002 国民体育大会 高知県立青少年センター体育館(高知) 2002/10/28-30
 男子 成年男子団体総合

順位	県名	メンバー名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	計
1	岡山	水島,森,山本,浅田,速見	26.900	27.500	27.450	27.925	27.900	28.000	165.675
2	埼玉	佐々木,篠原,倉光,馬場,楠	26.700	27.550	27.400	28.075	28.000	27.750	165.475
3	千葉	原田,齊藤(篤),吉田,木下,齊藤(雅)	26.650	27.300	27.800	27.300	27.300	27.850	164.200
5	京都	富田,芳村(3年),原田,濱田,中野	26.250	26.800	28.450	27.500	27.550	26.900	163.450
6	高知	斎藤(41期),高橋(42期),山中,太田(43期),有光	26.200	27.550	27.225	27.050	27.500	27.000	162.525
8	和歌山	田原,岸本(41期),木村(43期),笹村(2年),岩本	25.400	26.300	27.400	27.250	26.700	26.200	159.250
9	鹿児島	西岡,古賀,能勢(4年),永峯,北村	25.850	25.850	27.000	27.300	25.850	25.550	157.400
11	北海道	村田,西村(3年),青山,森田,高田	25.550	25.150	27.150	26.600	25.500	26.500	156.450

2002 国民体育大会 高知県立青少年センター体育館(高知) 2002/10/28-30
 女子 成年女子団体総合

順位	県名	メンバー名	跳馬	段違い	平均台	ゆか	計
1	大阪	田中,森重,尾山,松本,大杉	27.800	27.475	26.350	27.600	109.225
2	宮城	鈴木,丹野,今福,藤木,山本	27.300	27.225	26.100	27.450	108.075
3	広島	藤井,清本,尾藤,橋本,上原	26.725	26.125	26.050	26.500	105.400
11	北海道	山本(3年),長谷川,若松,高橋,高木	25.500	21.750	21.250	24.000	92.500



濱田靖一先生米寿を祝う会

2002 全日本体操競技選手権大会		ツインメッセ静岡(静岡)					2002/11/8-10		
男子	順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	順天堂大学	44.650	46.450	45.075	46.650	46.800	45.700	275.325
	2	徳洲会体操クラブ	43.800	44.100	46.800	46.750	47.125	44.300	272.875
	3	大翔会体操クラブ	43.200	45.175	45.550	46.000	45.825	46.100	271.850
	4	日本体育大学	45.150	42.625	44.400	46.325	47.225	45.900	271.625
	5	日本大学	42.800	43.700	45.200	44.525	45.150	43.200	264.575
	6	仙台大学	43.350	44.375	45.150	44.075	44.425	43.000	264.375
	7	筑波大学	41.100	42.875	45.050	45.075	43.650	42.100	259.850

団体総合個人成績

順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	斎藤 良宏	大翔会体操クラブ	9.100	9.550	9.200	9.150	9.550	9.500	56.050
2	富田 洋之	順天堂大学	9.300	8.950	9.525	9.400	9.125	9.550	55.850
3	鹿島 丈博	順天堂大学	8.950	9.775	8.750	8.800	9.625	9.450	55.350
3年	8 芳村 裕生	日本大学	8.900	9.300	9.400	9.100	9.525	8.500	54.725
38期	13 林 弘策	大翔会体操クラブ	8.650	8.650	9.250	9.325	9.200	9.150	54.225
43期	23 鏡 尚志	朝日生命体操クラブ	9.100	9.150	8.900	9.350	8.750	8.650	53.900
41期	28 畠田 健次	カワイ体操クラブ	8.100	9.000	9.450	8.850	9.400	8.600	53.400
4年	31 佐藤 佑介	日本大学	8.300	9.450	8.550	8.600	9.300	8.900	53.100
39期	39 若山 卓	大翔会体操クラブ	8.450	8.950	8.400	8.900	9.075	8.850	52.625
3年	43 田崎 裕祐	日本大学	8.500	7.675	9.100	8.750	9.250	9.050	52.325
1年	52 飯嶋 颯	日本大学	8.350	9.300	8.800	8.850	8.400	8.050	51.750
2年	53 塚本 泰祐	日本大学	8.750	8.100	8.750	8.900	8.500	8.700	51.700
35期	54 増田 宏正	大翔会体操クラブ	7.850	8.800	9.100	8.900	8.150	8.750	51.550
3年	58 若松 伸	日本大学	8.150	8.700	9.150	8.925	9.125	7.150	51.200
2年	58 森 光大	日本大学	8.300	8.300	8.450	8.500	8.750	8.900	51.200
43期	62 太田 崇	高知県体操協会	8.600	8.300	9.400	9.225	8.850	6.700	51.045
4年	68 古市 正樹	日本大学	8.500	8.600	8.550	8.800	7.850	8.250	50.550

個人総合

順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	富田 洋之	順天堂大学	9.300	9.575	9.625	9.375	9.600	9.500	56.975
2	鹿島 丈博	順天堂大学	9.250	9.700	8.750	9.300	9.600	9.050	55.650
3	佐藤 勇志	茗溪クラブ	8.800	9.300	9.050	9.125	9.600	9.350	55.225
38期	9 林 弘策	大翔会体操クラブ	8.650	9.250	9.100	9.400	9.200	9.100	54.700
43期	15 鏡 尚志	朝日生命体操クラブ	8.900	8.800	8.950	9.200	9.025	9.400	54.275
3年	22 芳村 裕生	日本大学	9.150	8.350	9.475	9.200	9.475	8.300	53.950
41期	26 畠田 健次	カワイ体操クラブ	7.900	9.025	9.450	8.825	9.400	8.800	53.400
4年	33 佐藤 佑介	日本大学	8.050	9.025	8.550	8.700	8.450	8.650	51.425

種目別(日大・桜樹関係者のみ)

ゆか	3 鏡 尚志	朝日生命体操クラブ	9.100
あん馬	5 佐藤 佑介	日本大学	9.075
つり輪	6 芳村 裕生	日本大学	9.350
つり輪	7 畠田 健次	カワイ体操クラブ	9.300
平行棒	3 芳村 裕生	日本大学	9.550

2002 全日本体操競技選手権大会		ツインメッセ静岡(静岡)				2002/11/8-10	
-------------------	--	--------------	--	--	--	--------------	--

女子	順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	朝日生命体操クラブ	43.825	44.175	43.075	43.525	174.600
	2	東京女子体育大学	41.250	39.125	40.200	40.025	160.600
	3	育森大学	42.025	40.575	38.075	39.725	160.400
	4	レジックススポーツ	41.225	39.525	38.125	38.400	157.275
	5	フジスポーツクラブ	41.500	37.050	37.700	38.650	154.900
	6	戸田市スポーツセンター	40.400	37.650	38.725	37.975	154.750

団体総合個人成績

選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1 大島 杏子	朝日生命体操クラブ	9.000	9.175	8.650	9.050	35.875
2 上村 美揮	朝日生命体操クラブ	8.875	8.725	8.675	8.725	35.000
3 石坂真奈美	朝日生命体操クラブ	8.800	8.900	8.200	8.925	34.825

個人総合

順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	石坂真奈美	朝日生命体操クラブ	8.925	9.000	8.675	8.725	35.325
2	佐原 礼香	リベラル体操クラブ	8.600	8.900	8.675	9.000	35.175
3	山本さとみ	仙台大学	8.800	8.650	8.800	8.575	34.825

平成14年度 懇親会報告

インターハイ懇親会

日時) 平成14年8月5日(月)19:30～
会場) 茨城ひたちなか; いさ美
会費) 7,000円
幹事) 29; 上田秀一、33; 竹田盛勝
参加) 4; 早田卓次、7; 苺込和男、8; 船木政明・山内悟、10; 安藤泰行・近藤明、11; 宇野正信、12; 田中清子、14; 田中章二、15; 市毛美喜男・谷田部光則・山崎信恵、17; 大津卓也・梶山広司・酒井清、19; 境保則・巻島久・松本俊一・松本真利子、23; 藤井幸信、25; 小野田博之、27; 島田利夫、28; 殿垣哲也、29; 上田秀一・高橋良明、31; 井本吉彦・長澤郁子、33; 竹田盛勝、34; 君嶋孝之・西川大輔、35; 田中栄一、36; 染谷忠勝、37; 斉藤俊明、38; 佐藤弘典、39; 青木佳彦

以上35名

※残金¥36,575—は体操部へ

全日本社会人懇親会

日時) 平成14年9月7日
会場) 福岡: 古仙

全日本社会人懇親会

会場) 高知

全日本懇親会

会場) 静岡

有志忘年会

日時) 平成14年12月7～8日(土)
場所) 熱海温泉「ホテル貫一」
会費) 20,000円
幹事) 4: 小俣里知子 29: 名倉靖之
参加) 1: 石井征也、4: 早田卓次、木村多喜、小俣里知子、7: 海谷美代子、10: 松本恭子、12: 相原和明、佐野共信、13: 塚田和茂、塚田千津代、小笠原祥子、15: 山中ゆう子、後藤史朗、17: 松井登美枝、29: 名倉靖之、31: 長澤郁子、34: 西川大輔、43: 葛西玲広

以上18名

報告) 29回卒 名倉 靖之

今回は、例年よりも参加者が少なく、少し寂しい感じがしました。初参加の方が松本恭子さん(10期)、塚田千津代さん・小笠原祥子さん(13期)、松井登美枝さん(17期)、葛西レオくん(43期)の5名に増え、幹事に致しましては大変心強く、また、楽しい一夜を過ごさせていただきました。

さて、この忘年会について少々ご紹介させていただきます。

まず、毎年12月の第1週の土日に熱海温泉「ホテル貫一」で開催されます。この「ホテル貫一」は、駿河湾に浮かぶ初島が美しく見ることが出来る最高の場所にあります。また、「ホテル貫一」の専務が日本大学文理学部体育学科の卒業で、木村多喜先生のクラスに在籍していました。(ちなみに私と高校、大学ともに同期です。)そして、身体の芯から温まる温泉。効能は、たしかリュウマチとか・・・よく見て入ったことがないのでわかりません。ごめんなさい。

次に宴会ですが、懐かしい人に久しぶりに会い、皆さん学生時代に戻り、たくさんお酒を飲んでその当時の話に花を咲かせています。また、早田先生、木村先生から昔のことを暴露されたり、裏話も聞けてスリルに満ちたとても魅力的な宴会です。そして、二次会は1階のバーにてほぼ貸し切りで呑めや歌えの大騒ぎ。さすがに皆さん「歌って踊れる体操部員」だなといつも感心しています。さらに、二次会終了後は・・・あまり詳しくお話すると楽しみが減るのでこの辺で終わらせていただきます。

話をがらりと変えて、静岡県では2巡目の国民体育大会が平成15年に開催されます。本年、全日本体操競技選手権大会をリハーサル大会として「ツインメッセ静岡」にて無事終わることができました。国体でも桜樹会を開催致しますので、ぜひ皆様静岡に足をお運びいただき、駿河湾の海の幸やお茶を堪能していただければと考えております。

最後に忘年会幹事長（小俣里知子）よりお願いがあります。忘年会のご案内のはがきを今までの参加実績より、発送させていただいておりますので、ご案内のはがきが届かない方もぜひ参加してください。また、久しく参加されていない方もお時間の許す限り、参加をお願いします。

「来年は、30人の大宴会をやろう！」

来年開催日時及び場所

平成15年11月29日（土）18：00開宴

熱海温泉「ホテル貫一」

幹事：三島支部：小俣里知子（4期）、三宅美雄（5期）、後藤史朗（15期）、小塚和子（25期）、名倉靖之（29期）

有志新年会

日時）平成15年1月26日（土）

場所）新宿「栄寿司二号店」

会費）5,000円

幹事）25；遠藤幸一、34；西川大輔

参加）顧；濱田靖一・遠藤幸雄、1；石井征也、4；早田卓次、5；小栗郁郎、6；鶴見興人、7；岩澤稔、10；門脇隆・松本恭子、13；小笠原祥子・斎藤敬一・宮原久美子・塚田和茂・塚田千津代、14；青木昭文、25；遠藤幸一、31；長澤郁子、34；西川大輔、35；宮根豊、38；後藤靖治・渋沢葉子・佐藤弘典、43；葛西玲広

以上23名



全日本社会人大会懇親会



有志忘年会

平成14年度 日本大学桜樹会 第1回役員会報告

平成14年4月20日(土) 15:00~17:00

日大文理; 体育学科会議室

出席) 石井征也、木村多喜、早田卓次、小栗郁郎、小松武雄、海谷美代子、菅野多賀子、梶山広司、渡辺嘉三、遠藤幸一、葛西玲広、吉本俊明(日大文理)、高橋正則(日大文理) 以上13名うち会員外2名

I 報告事項

1. 会報36号について
・現在、印刷へ。
2. 平成13年度総会報告
日大文理・カフェテリア「チェリーにて」開催。
3. その他
新役員紹介: 葛西玲広(43回卒)

II 審議事項

1. 日本大学体操部への補助費について
¥300,000- (東インカレ山梨、全日本インカレ米子のため)
2. 桜樹会創立40周年記念事業検討委員会の発足について
- 小室等氏作詞作曲した「体操部の歌」の歌詞を額などに入れて体操場に飾ること、あるいは、歴代オリンピック日本代表選手の名を体育館に形として残すことはできないか要望があったが、その趣旨はありがたいが文理学部の施設を体操部が借用している立場から考えると体操場への設置は困難である。
- 事業検討委員会に関しては設置せず、当面は会報において40周年記念号を発刊するに留め、状況を見てイベントを企画することとする。
1. 社会人大会参加補助(予算内(400,000円)で、参加希望者数を見て対処する)
2. 濱田先生米寿を祝う会について

1) 実施概要

[タイトル] 濱田靖一先生米寿を祝う会

[実施日時] 平成14年4月27日(土)午後5時受付開始、5時半開宴

[実施場所] 新宿: センチエリーハイアット

西新宿2-7-2 電話03-3349-0111

[対象] 日本大学桜樹会、日本大学および附属高校体育教員、大学院関連(一部、教育学関係を含む)、体育学科卒業生有志

2) 実施詳細

@祝賀会案内の返信状況(2002.04.18現在)

- (1) 桜樹会関係=返信256通(35.7%)

(2) その他=返信131通 (50.6%)

出席者 112名

@予算案について

(1) 収入に関しては、祝賀会参加者の会費で行う (1万5千円)。

15,000円×112人=1,680,000円 +ご祝儀 (?)

(2) 支出に関しては、

a) 祝賀会案内の印刷、郵送料=133,000円

b) 宴会費=1人1万円として=1,120,000円

c) 濱田先生お車代=10,000円

d) 看板作成=50,000円

e) 濱田先生への記念品代=200,000円

f) 濱田先生に対して会のアルバム代

g) 雑費 (コピー代他)

@式次第について

1. 体操方法論授業風景VTR編集 (10分) : 金子(大学院関係)

2. 開会の辞

3. 祝辞

4. 乾杯

5. 歓談 (状況を見ながら祝電披露やスピーチ・スナップ写真撮影)

6. 記念品贈呈

7. 謝辞

8. 閉会の辞

※なお、祝辞などしていただく方の人選は早田世話人代表に一任

@役割分担

* 受付・会計 (当日、参加者を確認する、会費を受け取る、ネームプレート・領収証を渡す、資料・式次第を渡す) (高橋、海谷+補佐役)

* 領収証の作成 (遠藤)

* 記念品=商品券=準備 (遠藤)

* 司会 (小栗+補佐役)

* 濱田先生の略歴、参加者名簿、礼状の資料作成 (遠藤)

* ネームプレート準備 (吉本、高橋)

* カメラマン (金子(大学院関係)に依頼⇒4/21辞退)

* 記念アルバム作成 (金子(⇒4/21辞退)または海谷)

役員、世話人は午後4時に会場前ロビーに集合する。

平成14年度 日本大学櫻樹会 第2回役員会議事

平成15年3月23日(日) 14:00~16:00

日本大学文理学部第2体育館3階体操場

出席) 石井(1)、早田(4)、海谷(7)、遠藤(25)、長澤(31)、君嶋(34)、西川(34)、葛西(43)

以上8名

I 会計監査作業

II 報告事項

1. 競技会報告

1) 全日本社会人選手権大会(福岡; 2002/9/6~8); 「日大櫻樹クラブ」7名派遣

・2部男子団体総合; 1位

・2部男子個人総合; 吉田義経(37回卒) …7位、門脇年宏(41回卒) …8位、
島田利夫(27回卒) …13位、君嶋孝之(34回卒) …27位、
渡辺稔宜(41回卒) …28位、石口雅也(35回卒) …58位

・2部女子個人総合; 伊藤佳代子(36回卒) …2位

2) 全日本選手権大会(静岡; 2002/11/8~10)

・男子団体; 日本大学…団体5位

3) 関東学生新人・交流選手権大会(善行; 2002/10/4~6)

新人戦

・男子団体3位 ・女子団体4位

4) フレンチオープン国際(パリ; 2002/10/19~20)

代表: 芳村裕生(3年) — 平行棒4位

5) 全日本選手権大会(静岡; 2002/11/8~10)

・男子団体; 日本大学…団体5位

2. 各懇親会報告

1) 有志忘年会; 平成14年12月7日(土)~8日(日) …熱海温泉「ホテル貫一」
参加; 会員18名(男性; 9名、女性; 9名)

2) 有志新年会; 平成15年1月26日(日) 15:30~…新宿; 栄寿司二号店
参加; 会員23名(男性; 17名、女性; 6名)

3) 日本大学体操部送別会; 平成15年2月7日(金) 新宿; サンルート東京

3. その他

1) 日本大学体操部補助について…米子インカレ(¥300,000—)

2) 社会人(福岡)大会について: 参加補助金; ¥200,000—…7名

3) 新入会員について…13名予定; 男性8名、女性5名

- 4) 会報第37号について…25周年記念誌の時のように写真の集まりが悪い
- 5) 第2回役員会中止について

Ⅲ 審議事項

1. 平成14年度総会（議事録）打合せ

委任状237通（現住所不明10通）；通知683＝3/23現在：返信率36.5%

「挨拶」…会長 石井 征也

「議長・書記選出」…当日調整

「報告事項」

1. 事業および行事報告…日本大学桜樹会・体操部関係；事務局（資料参照）

※競技会成績、懇親会報告および役員会報告等の詳細については会報第37号に記載予定。

2. 新入会員報告…男性会員8名、女性会員5名手続き済み

3. その他（濱田先生米寿を祝う会4/27、早田先生紫綬褒章受章祝賀会7/19、会員の逝去：3回卒「古市和也」平成14年9月6日逝去、17回卒「広川優子（旧姓丹野）」平成14年6月17日逝去）

「審議事項」

1. 平成14年度収支決算報告…事務局

前年度繰越金(1,178,580円)を含み、収入2,476,073円、支出1,029,108円、繰越金は1,446,965円であった。繰越金を除いた収支差額がプラス268,385円であったので、平成14年度は黒字となった。この理由として考えられるのは、支出を大幅に抑えられたことにある。事業費支出に関しては予算より559,175円低く抑えられたが、これは、会報の印刷代がかからなかったこと、競技会参加補助費がかからなかったことに理由がある。その他の項目も予算を上回るものはなかった。

2. 会計監査報告…総会当日、両会計監査が欠席のため総務より報告

3. 別紙平成14年度収支決算承認へ。

4. 平成15年度事業および行事計画

2003年3月で桜樹会創立40周年を迎えるに当り、写真を多く取り入れた会報記念号の発刊を準備している。なお、平成15年度は会員名簿を発行。また、国際大会としては世界選手権があるので、状況によって壮行会の開催を検討したい。また、木村先生の女子コーチとしての功績に対する慰労会開催については海谷幹事に企画調整をお願いする。

5. 別紙平成15年度事業および行事計画承認へ。

6. 平成15年度予算案

会報記念号、ならびに名簿の発刊発送を考慮し、事業費予算を増額した。

7. 平成15年度予算案承認へ。

8. 役員改選⇒留任案を提案へ。

9. 会則改正⇒名誉会員に顧問を含む。

2002年度 会費納入状況

179名

総額

1,205,000円

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
1	4	1	井上あい子	2,000	41	5	15	藤原 和子	6,000
2	4	1	太田 崇	2,000	42	5	15	大友 栄紀	108,000
3	4	1	鏡 尚志	2,000	43	5	15	渡辺美弥子	6,000
4	4	1	葛西 玲広	2,000	44	5	15	境 保則	6,000
5	4	1	木村 光	2,000	45	5	15	森元 潤一	4,000
6	4	1	斎藤みずき	2,000	46	5	15	高橋 千春	4,000
7	4	1	平 敏樹	2,000	47	5	15	竹村 里香	4,000
8	4	1	錦井 浩樹	2,000	48	5	15	大坂 知恵	4,000
9	4	1	半藤 京子	2,000	49	5	15	水島 宏一	4,000
10	4	1	古川 哲也	2,000	50	5	15	古川 堅	4,000
11	4	1	山崎 紀子	2,000	51	5	15	山下 大介	2,000
12	4	1	山田 真二	2,000	52	5	16	岡本 公子	6,000
13	4	1	木村 多喜	12,000	53	5	16	山本 好隆	6,000
14	4	1	小栗 郁郎	6,000	54	5	16	藤田 純一	18,000
15	4	1	小松 武雄	6,000	55	5	16	中谷 秀明	6,000
16	4	1	名倉 靖之	16,000	56	5	16	巻島 久	6,000
17	4	1	舟山 忠広	6,000	57	5	16	高井 一成	4,000
18	4	1	伊谷 正一	12,000	58	5	16	宮崎真由美	4,000
19	4	1	村上 吉正	12,000	59	5	16	山田 銀一	2,000
20	4	27	岩田 惇	6,000	60	5	16	梅田 陽子	4,000
21	4	27	志村 久子	6,000	61	5	18	山内 悟	6,000
22	5	5	長澤 郁子	8,000	62	5	18	池田 一正	12,000
23	5	7	津村 二郎	6,000	63	5	18	松本 俊一	6,000
24	5	10	後藤こずえ	12,000	64	5	18	山下 敦	6,000
25	5	10	西川 大輔	2,000	65	5	18	富高 千恵	2,000
26	5	11	田野 哲	6,000	66	5	19	伊藤 勇	6,000
27	5	11	安藤 泰行	6,000	67	5	19	佐藤 久恵	6,000
28	5	11	中村 幸子	10,000	68	5	19	鈴木 一弘	6,000
29	5	11	谷田部光則	6,000	69	5	19	田澤 千晶	4,000
30	5	11	梶山 広司	6,000	70	5	19	染谷 忠勝	2,000
31	5	11	佐伯佳奈子	14,000	71	5	20	平川 文雄	6,000
32	5	13	春山 文子	6,000	72	5	20	船木 政明	6,000
33	5	13	上野 剛	6,000	73	5	20	宇津 豊	6,000
34	5	13	和田 勝	6,000	74	5	20	近藤 明	6,000
35	5	13	松本 恭子	6,000	75	5	20	渡辺 英明	10,000
36	5	13	山脇 恭二	6,000	76	5	20	竹中 剛	4,000
37	5	13	大塚 宏	8,000	77	5	20	鈴木 和司	2,000
38	5	13	桜井 一男	4,000	78	5	22	海谷美代子	6,000
39	5	15	小柴 守夫	6,000	79	5	22	今西 悦子	6,000
40	5	15	工藤 昌二	6,000	80	5	22	錦井 利臣	6,000

81	5	22	岩井 高志	6,000	123	6	12	住広 晃	10,000
82	5	22	矢嶋 利康	8,000	124	6	12	柏谷 錦一	6,000
83	5	22	井本 吉彦	4,000	125	6	13	桑原 透	16,000
84	5	22	前野 睦美	8,000	126	6	13	喜多川和也	4,000
85	5	22	大江 晴久	4,000	127	6	15	小塚 和子	4,000
86	5	22	若松 洋一	6,000	128	6	19	保坂 弘一	6,000
87	5	22	錦井 浩樹	2,000	129	6	19	古賀 和彦	12,000
88	5	23	鶴見 興人	6,000	130	6	19	五十嵐久人	6,000
89	5	23	佐藤 勲	6,000	131	6	21	岩澤 稔	6,000
90	5	23	赤井 和子	6,000	132	6	22	後藤 靖治	4,000
91	5	23	藤田 力雄	6,000	133	6	24	豊田麻規子	4,000
92	5	23	寺元 良人	6,000	134	6	26	森泉 貴博	2,000
93	5	23	川崎 聖子	4,000	135	6	27	大塚 政子	2,000
94	5	25	菊地 君男	6,000	136	6	27	門脇 年宏	3,000
95	5	25	大野 裕二	4,000	137	6	28	堀田 淳二	6,000
96	5	26	内田 民雄	18,000	138	6	29	玉内 幸子	20,000
97	5	26	中山 孝之	4,000	139	6	29	橋本 和雄	4,000
98	5	26	渋沢 葉子	4,000	140	6	29	林 秀樹	2,000
99	5	26	青木 香乃	2,000	141	7	1	吾妻 晶子	4,000
100	5	27	志賀 正昌	6,000	142	7	3	二岡真美子	30,000
101	5	27	高橋 正典	6,000	143	7	3	安里 順一	4,000
102	5	27	川久保祐司	4,000	144	7	3	栗山 香織	2,000
103	5	27	橋本 博之	10,000	145	7	5	佐藤 寿治	4,000
104	5	29	伊藤 訓子	2,000	146	7	6	平井 良幸	4,000
105	5	30	井上 博	6,000	147	7	7	門脇 隆	6,000
106	5	30	藤原 由文	4,000	148	7	7	小野田博之	4,000
107	5	31	林 昌幸	6,000	149	7	8	菅野 秀俊	6,000
108	5	31	高見 等	6,000	150	7	10	塚田 和茂	6,000
109	5	31	大里 武光	4,000	151	7	10	田中 章二	6,000
110	5	31	中根 均	4,000	152	7	13	小坂井一弘	4,000
111	6	1	真島 孝禮	6,000	153	7	15	千野 良一	6,000
112	6	3	金子 正史	6,000	154	7	15	綱島 路正	6,000
113	6	5	檜 一幸	4,000	155	7	17	村上 吉正	6,000
114	6	5	上田 秀一	12,000	156	7	17	山崎 雅章	6,000
115	6	6	原 弘吉	6,000	157	7	19	宮川 直人	6,000
116	6	6	金野 東	12,000	158	7	25	島田 利夫	4,000
117	6	6	今木 重光	2,000	159	7	28	朝倉 徳雄	5,000
118	6	7	松下 悦子	6,000	160	7	30	朝倉 徳雄	1,000
119	6	7	天童 毅	4,000	161	8	3	慶田盛 定	6,000
120	6	7	佐藤 善幸	8,000	162	8	12	相原 和明	6,000
121	6	8	中森 勉	30,000	163	8	24	三鍋ますみ	8,000
122	6	10	斉藤 敬一	6,000	164	9	4	森山 理	6,000

165	9	17	木村 邦博	12,000	173	1	16	加藤 真理	6,000
166	10	26	松田 洋	6,000	174	1	26	小笠原光子	6,000
167	11	7	早田 卓次	12,000	175	2	22	平川 文雄	6,000
168	11	14	中島 元	12,000	176	2	26	助信 昌俊	4,000
169	11	28	舟山 忠広	6,000	177	2	28	水島 克己	6,000
170	12	5	土持 修子	4,000	178	3	1	君嶋 孝之	4,000
171	12	13	坪井しのぶ	6,000	179	3	7	今村 悟	18,000
172	12	26	大塚 文夫	6,000					

香 蘭	請 祝 額	請 謝 金	伊 賀 子	目 録
公 益 財 団	000 円	000 円	000 円	資 金 簿
金 野 会 員 様 (献 金・香 蘭) 恩 賜	670 円	00 円	00 円	入 附 録
	670 円	00 円	00 円	情 合



有志忘年会

2002年度 日本大学桜樹会収支決算書

2002年4月1日～2003年3月31日

(収支決算書)

会計監査

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
収入総額	2,400,000	2,476,073	76,073
支出総額	2,400,000	1,029,108	1,370,892
差引(次年度繰越金)		1,446,965	

(収入明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
前年度繰越金	1,178,580	1,178,580		
会 費	1,200,000	1,205,000	5,000	179名分
寄 付	0	0	0	
雑収入	21,420	92,493	71,073	利息(普通・定額)、懇親会残金
合 計	2,400,000	2,476,073	76,073	

(支出明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事業費	1,100,000	540,825	559,175	会報第36号発行;132,825 競技会参加補助;200,000 総会開催準備;200,000
補助費	300,000	300,000	0	体操部補助
会議費	80,000	0	80,000	会議室使用料(総会、役員会)
通信費	300,000	149,620	150,380	会報・名簿郵送料
事務費	50,000	26,328	23,672	原稿用紙、印刷用具購入他
雑 費	30,000	12,335	17,665	口座手数料他
予備費	540,000	0	540,000	
合 計	2,400,000	1,029,108	1,370,892	

(特別積立金)

記念事業費	500,000
-------	---------

上記の決算書は適正であると認めます。

平成15年3月26日

会計監査 小松 武雄

会計監査 菅野 多賀



平成14年度 日本大学桜樹会総会議事

期日) 平成15年3月29日(土) 13:00~15:00

場所) サンルート東京3F「桔梗」

出席) 石井征也(1)、早乙女貞夫(3)、小俣里知子(4)、菊地君男(4)、早田卓次(4)、海谷美代子(7)、佐藤 勲(7)、相原和明(12)、青木昭文(14)、谷田部光則(15)、遠藤幸一(25)、長澤郁子(31)、以上12名

委任状) 240通 <通知683 返信254通(現住所不明10通)>

I 挨拶…会長 石井 征也

II 議長・書記選出

議長; 早乙女貞夫(3回卒) 書記; 海谷美代子(7回卒)

III 報告事項

1. 事業および行事報告

報告に先立って早田さんより、紫綬褒章受章祝賀会開催へのお礼が述べられた。

(1) 桜樹会関係(総務) 別ページ参照

(2) 体操部関係(総務) 別ページ参照

なお、競技会成績、懇親会報告および役員会報告等の詳細については会報第37号に記載予定。

2. 新入会員報告(総務) …13名(男性8名、女性5名)

- ・ 卒業生全員が入会したのかという質問があり、全員入会手続きが完了したという報告がなされた。
- ・ さらに、卒業生送別会において濱田顧問の「みんな入るんだよ」という呼びかけ(?)や、社会に出て、どれほど頼りになっているかという先輩の話を聞いて、皆迷わず入会したのだと思うという補足もあった。

3. その他

(1) 会員の逝去

3回卒 古市和也 平成14年9月6日逝去…花輪をおくった。

17回卒 広川優子(旧姓丹野) 平成14年6月17日逝去…未対応

- ・ 昨年の議事録にもあるとおり、総務に連絡が入らないと対応不可能なので、友達間だけでとどまらないで、総務にも一報入れてもらいたい。
- ・ 広川さんへの未対応というのは、総会の返信(夫君)で知ったということによる。

(2) 卒業回毎の返信率ランキング(総務) …この表を見ながらいろいろ意見・感想が出たので、列記してみる。

- ・ 71.4%(4回)~18.2%(42回)と幅があり、平均で37.6%ということであ

るが、6割以上も返ってこないというのはあまりにもさびしい。

- ・ 出席者が14名（実際は12名）というのもさらにさびしいが、年度末ということと、高校選抜とも重なり、時期的なことにより少ないのは仕方がないのかもしれない。
- ・ せめて欠席でも返信してくれると、関心はあるのだと思えてほっとするのだが。
- ・ 会費を納めなくても出欠の返事を出さなくても会報は届くし、名簿ももらえるしで、どうでもよくなっているのか。
- ・ とにかく、親睦を図ることを目的としている会であるので、会費云々はさておいて、音信不通というのはできるだけなくしていきたいものである。
- ・ ちなみに会費はさかのぼらなくてもいつからでも納めてほしい。

IV 審議事項

1. 平成14年度収支決算報告（総務）別ページ参照
2. 会計監査報告（総務代行）別ページ参照…会計監査二人とも都合により役員会・総会欠席のため、他の役員により会計監査作業を行い、会計監査にはファックスにてその報告をして、署名・捺印をもらった。
3. 平成14年度収支決算の認否…承認
4. 平成15年度事業および行事計画（総務）別ページ参照
 - ・ 5月の世界選手権代表決定競技会には、男子2名（学生1・桜樹1）が出場するので、代表に入ることができたら、その壮行会（都合によっては報告会）を予定している。
 - ・ 9月に社会人大会が東京で行われるので、いつも地方大会で盛り上げてくれているブロック幹事にまけないような懇親会をやろうということになり、いつも桜樹クラブ出場の前日というのが恒例となっているので6日（土）と決定される。
 - ・ 3月の総会は高校選抜（横浜）と重なるので、場所を横浜ということにする。
5. 平成15年度事業および行事計画の認否…承認
6. 平成15年度予算案（総務）別ページ参照
7. 平成15年度予算案の認否…承認
8. 役員改選…満場一致で再任される。
会 長；石井 征也（1）
副 会 長；早乙女貞夫（3）・小俣里知子（4）・高田 信興（4）
総 務；遠藤 幸一（25）・君嶋 孝之（34）
会計監査；小松 武雄（5）・菅野多賀子（10）
9. 会則改正について
 - ・ 会員名簿のはじめに載っている顧問とは、会則第6条（会員）の中のどの会

員なのかという質問があったので提案する。

- ・ 役員会で協議した結果、③名誉会員であることを確認したので、会則第6、7、8条にある名誉会員の文言に括弧書きを加え、名誉会員（顧問を含む）とする。
- ・ 異論なく承認される。

以上

総会終了後、同所にて会員懇親会を開催。（会費男性6千円、女性5千円）

□懇親会報告…海谷美代子（7回卒）

総会出席者12名に遠藤先生と山中さん(5)・松本さん(10)が加わり、懇親会となりました。今回は少人数ということもあって、着席式で和風会席料理をいただきながらというものでした。食事に先だつて総務の遠藤さんが、40周年に合わせて東京オリンピック（昭和39年）から平成元年のインカレまでのテレビ放映をピックアップして編集したビデオを流してくれたので、それを見ながら乾杯からはじまりました。

「遠藤先生若〜い！眉毛のびてな〜い」「早田さんス・リ・ム！」「あっ！シャハリんだ！カーン（ドイツ・サッカー選手）と似てるよね」「いや、カーンはもっと猿顔だよ」「あれっ今のはラチニナ？いや・アスタホワじゃない？」「おーっチャスラフスカだ！いいよなあ、これがホントの体操だよなあ」。このあと歴代の選手が登場し、最後に「ひえーっ大輔君坊主頭だよッ！かわいいーいッ！」で終わったのですが、このビデオが大変面白くて盛り上がり、「幸ちゃん！（ビデオですっかり40年前の気持ちになり、その頃幸一君は赤ちゃん、皆んな幸ちゃんと呼んでいた）これいいよ。ダビングして売ろうよ」「儲かるぜ・きっと」というような話題が導入となり、会話が両隣り、お向かい、斜向こうへと飛び交い、食べながら、飲みながら、アツという間の2時間でした。

私的には立食式だと、中央に料理を採りにいって、座るところを探してなんとなく会話をし、また料理へと繰り返す、食べるのも話すのも半端という思いがあるので、今回はゆったりと過ごすことができ幸せでした。それに立食式だと飲んべえは殆ど食わずに差しつ差されつ飲んでばかりで、他人ごとながら健康への心配がいつも心を過ぎていました（本当よ、誰とは言わないけれども）。この度は皆さんハラペコだったのか、キッチンと食べて、キッチンと飲んで（？）、会話も弾んでおおいに盛り上がりました。

これが体育会を卒業した者の正しい懇親会のやり方ではないでしょうか（なんて言ったりして…）。とにかく楽しい会合でした。

このあと美禄亭という居酒屋に場所を移して続きをやり、再度盛り上がりました。ここでは鶴見さん(6)が加わり、8時過ぎに御開きとなりました。

平成15年度 役員一覧

<会 長> 1;石井 征也

<副 会 長> 3;早乙女貞夫、4;小俣里知子・高田 信興

<会 計 監 査> 5;小松 武雄、10;菅野多賀子

<総 務> 25;遠藤 幸一、34;君嶋 孝之

以上 平成14年度総会にて決定

<役 員> 20名

2;吉川 晃

17;梶山 広司

4;菊地 君男・木村 多喜・早田 卓次

20;渡辺 嘉三

5;小栗 郁郎

29;水島 宏一

6;鶴見 興人

31;長澤 郁子

7;岡本 公子・海谷美代子

34;西川 大輔

9;朝倉 徳雄・林 昌幸

43;葛西 玲広

11;原 弘吉

44;佐藤 佑介

14;外山 宜男

44;日向彩百合

<ブロック役員> 15名

北 海 道 … 5;中島 元

東 北 … 7;佐藤 勲、11;宇野 正信

北 信 越 … 8;船木 政明、14;五十嵐久人、15;住廣 晃

東 海 … 20;慶田盛 定

近 畿 … 8;小柴 守夫、11;山田 隆士

中 国 … 13;中谷 秀明、25;小野田博之

四 国 … 8;山崎 智彦、33;橋本 博之

九州・沖縄 … 5;磯部 忠通、16;錦井 利臣

以上 会長指名により決定

※本役員一覧表をもって委嘱状にかえる。

平成15年度 事業および行事計画

月	日	事業および行事内容	場 所
4	未定	第1回役員会	未定
5	16~18 下旬	東日本インカレ (応援) 会報37号 (40周年記念号)・2003名簿発行・ 発送	栃木県小山；県南体育館
	30~31	世界選手権代表決定兼NHK杯	東京体育館
7	30~8/1	インターハイ (懇親会)	長崎県立総合体育館
8	6~8	全日本インカレ (応援・懇親会)	山形；酒田市
	16~24	第37回世界選手権	アメリカ；アナハイム
9	5~7	社会人 (選手派遣・応援・懇親会)	東京体育館
	未定	第2回役員会	未定
10	未定	関東学生新人・交流 (応援)	未定
	27~29	国体 (懇親会)	静岡；ツインメッセ静岡
11	13~16	全日本 (応援・懇親会)	埼玉；彩の国熊谷ドーム
	17~24	アジア選手権	中国；広州
	29~30	忘年会 (有志)	熱海；ホテル貫一
12	未定		未定
1	24	新年会 (有志)	新宿；栄寿司二号店
3	14	第3回役員会 (会計監査作業)	未定
	27	平成15年度総会・懇親会	横浜；未定

※変更もありえますのでご注意ください。

2003 年度 日本大学桜樹会予算案

2003年4月1日～2004年3月31日

(収支決算書)

項 目	予 算 額	前年予算額	前年決算額	予算差額
収入総額	2,650,000	2,350,000	2,476,073	300,000
支出総額	2,650,000	2,350,000	1,029,108	300,000
差引(次年度繰越金)	0			

(収入明細)

項 目	予 算 額	前年予算額	前年決算額	予算差額	備 考
前年度繰越金	1,446,965	1,178,580	1,178,580	268,385	
会 費	1,200,000	1,200,000	1,205,000	0	
寄 付	0	0	0	0	
雑収入	3,035	21,420	92,493	-18,385	利息
合 計	2,650,000	2,400,000		250,000	

(支出明細)

項 目	予 算 額	前年予算額	前年決算額	予算差額	備 考
事業費	1,300,000	1,100,000	540,825	200,000	会報第37号「記念号」 名簿発行；800,000、 各競技会 参加補助；300,000、 総会開催準備； 200,000
補助費	300,000	300,000	300,000	0	体操部補助
会議費	50,000	80,000	0	-30,000	会議室使用料
通信費	400,000	300,000	149,620	100,000	会報他郵送料
事務費	50,000	50,000	26,328	0	原稿用紙、印刷用具 購入他
雑 費	30,000	30,000	12,335	0	口座手数料他
予備費	520,000	540,000	0	-20,000	
合 計	2,650,000	2,400,000		250,000	

平成15年度 体操部行事予定

(日本体操協会行事を含む)

4月1日現在

月	日	行 事	備 考
4	8 14	入学式 (日本武道館) 保健体育審議会入会式 (日大会館)	
5	16~18 30~31	体操部新入生歓迎会 東日本インカレ (栃木・県南体育館) NHK杯・世界選手権代表決定 (東京体育館)	
7	30~8/1	インターハイ (長崎・県立総合体育館)	
8	6~8 12~17 16~24 19~21 27~30	全日本インカレ (酒田) 全日本ジュニア (横浜) 世界選手権 (アメリカ・アナハイム) 全国中学校 (大阪) ユニバーシアード (韓国・大邱)	
9	5~7 14~15	社会人 (東京体育館) 国際ジュニア (横浜)	
10	17~19 27~29	関東学生新人・交流 (善行) 国体 (ツインメッセ静岡)	
11	13~16 17~24	全日本 (埼玉・熊谷) アジア選手権 (中国・広州)	
12	6~7	中日カップ名古屋国際 (名古屋) 体操部スポーツ大会	
2		体操部卒業生送別会	
3	25 26~27 26~28	春季合宿 (土浦日大高) 卒業式 (日本武道館) 高校選抜 (横浜) 全国小学生 (茨城・大洗)	

平成15年度 体操部役員および部員

体操部役員

部長；早田 卓次 副部長；渡辺 馨
 監督；梶山 広司 コーチ；長澤 郁子、西川 大輔

体操部員 48名(男子35名、女子13名)

4年；	田村 元永／日大東北高	田崎 晶子／熊本学大附高
芳村 裕生／洛南高	徳永 哲人／熊本学大附高	1年；
若松 伸／県立庄内総合高	錦井 智子／東海大四高	西峰 賢二／関西高
田崎 裕祐／熊本学大附高	小野 鮎子／和歌山北高	守屋 貴夫／洛南高
西村 祥／東海大第四高	2年；	池田 賢明／旭川大学高
松谷 育英／姫路商業高	山口 悠樹／洛南高	内田 友幸／横浜商大附高
吉野 匠／日大三島高	小田原玄弥／埼玉栄高	新藤 正晃／清風高
山北恵理子／藤村女子高	飯嶋 頭／日大藤沢高	福島 良治／湘南工科大付属高
松本 陽奈／熊本学大附高	城崎 大樹／湘南工大附高	出口 裕也／姫路商業高
山本加奈絵／札幌第一高	江原 嘉一／市立沼田高	平川 雄貴／能代高
3年；	清水 昭幸／関西高	市角 仁／中村高
塚本 泰裕／清風高	吉田 秀登／長野日大高	綱川 秀明／日大藤沢高
笹村 昌宏／田辺工業高	巻島晃一郎／れいめい高	北島由希子／文化女大付属高
森 光大／清風高	伊藤 昇／桐生工業高	後藤 沙織／酒田中央高
石渡 幸一／横浜商大附高	笠木 翔平／修徳高	新井 麻衣／聖望学園高
市川 哲史／長野日大高	村田麻衣子／鶴見女子高	境 朱夏／文化女大付属高
佐伯 良治／保善高	松永百合江／土浦日大高	
須藤 大地／日大東北高	和泉 恵／土浦日大高	

	練習開始時間		
	平日	土曜	休日
男子	16:20～	14:40～	13:00～
女子	16:20～	14:40～	10:30～

上記のような予定になっていますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

・練習場；日本大学文理学部第2体育館3階体操場

電話 03-3329-1151(代表)

専門書出版のお知らせ

9回卒 今村 悟

この度3年にわたる翻訳作業を終え、京都学園大学の吉中康子先生との共訳で、『ドイツ体操連盟編集「ドイツ体操祭」—ドイツ体操運動の構築—』というタイトルで、専門書を4月20日に出版しました。

会員の皆様、この本を読んでいただければ、ヤーン以後のドイツにおける体操の歴史や組織が理解できると思います。

本書の内容は、下記のとおりです。

- 第1章 体操は、多くのドイツ人にとって心のふるさと
- 第2章 連帯感と市民精神の活性化
- 第3章 コルセットからスポーツウェアへ
- 第4章 昔は無視され、今求められているもの：体操ユージュント
- 第5章 時代変遷の中での体操祭における競技
- 第6章 体操クラブのない市町村はない

第7章 労働者体操スポーツ連盟 (ATSB) の体操祭

第8章 偉大なる伝統の遺産、ドイツ体操連盟 (DTB)

第9章 ドイツ民主共和国 (DDR) の体操家と体操祭。

資料

最も歴史あるドイツ体操祭を通し、体操とスポーツの関わり、競技におけるジェンダーの問題、体操ユージュントに秘められた若者の活動、シニア世代の運動などを貴重な写真資料とともに紹介しています。

定価は1900円(税別)です。

出版は京都の晃洋書房で住所は、

〒615—0026 京都市右京区西院北矢掛町7

Tel 075-312-0788 Fax 075-312-7447

是非ご一読ください。

現代っ子

16回卒 北村弘文

遠藤先生が監督になった年に全国から個性が強く元気な選手が現代っ子と言われ、46年春に入学しました。やんちゃな新入生達なので先輩達もたいへんだったと思います。

私は、高崎工業から日大へ第1期生として入学しましたが、先輩がいなく、県人会もなくさみしい時もありました(今思うと高崎工業から日大へのパイプ役ができてよかったと思っています。シドニーオリンピック参加の後輩である岩井則賢もアテネに向けてがんばっていると聞きました)。

生意気だった私は、襟が高く長い学生服だったために、毎日、合宿所のグラウンドで先輩達に殴られ、殴られれば先輩達をにらみ返し、殴られるのをわかっていながら夜遊び朝帰り。いつも今年の新入生は日大始まって以来どうしようもないと言われましたが、この現代っ子と17回

卒の梶山先生(現監督)が中心に昭和48年全日本インカレ男子団体初優勝。日大節世代は、何ごとも厳しかったけど毎日楽しかったです。思い出に残っているのは、私が大学2年の時に合宿所で、消灯になると梶山先生が中心となった1年生達がいづのまにか自分のふとんの周りにタバコを持って一服いいですかと、自分を頼ってきた思い出が強く残っています。

一言…思い出…合宿所、体育館、学生運動、日大節。体操から離れて約30年。今は祭りで神輿を担ぐのが楽しく全国の祭りに行くのが楽しみで週に2日、筋トレをやっています。体操で故障した両肩が今でも時々痛みますが痛みをこらえて練習していたころを思い出して励んでいる今日この頃です。

日大体操部時代の思い出と体育会の幹部バッジは宝物。現代っ子、日大節バンザイ

日本大学体操部の団体順位の変遷

年度		全日本インカレ			全日本選手権		
		男子	女子	個人優勝	男子	女子	個人優勝
1957	(昭32)	2部2位	—		—	—	
1958	(昭33)	3	—		—	—	
1959	(昭34)	3	3		—	3	
1960	(昭35)	3	3		5	5	
1961	(昭36)	3	3		5	5	
1962	(昭37)	3	2	早田卓次/渋谷多喜	6	4	遠藤幸雄
1963	(昭38)	3	3	下手真美子	8	6	遠藤幸雄
1964	(昭39)	4	3		9	4	遠藤幸雄
1965	(昭40)	3	2		4	2	遠藤幸雄
1966	(昭41)	4	1		—	—	渋谷多喜
1967	(昭42)	3	2		—	—	
1968	(昭43)	3	2		3	2	
1969	(昭44)	2	2		—	—	
1970	(昭45)	4	2		4	2	
1971	(昭46)	2	2	椎名 昇	4	2	
1972	(昭47)	2	2	五十嵐久人	8	2	
1973	(昭48)	1	2	梶山広司	2	2	
1974	(昭49)	1	3	梶山広司	2	2	
1975	(昭50)	1	3	梶山広司	3	3	
1976	(昭51)	2	4		4	2	梶山広司
1977	(昭52)	1	4		5	6	
1978	(昭53)	2	4		5	6	
1979	(昭54)	1	6		6	—	
1980	(昭55)	4	6		8	6	
1981	(昭56)	3	4		10	6	
1982	(昭57)	4	4		5	8	
1983	(昭58)	3	4		6	4	
1984	(昭59)	4	5		8	—	
1985	(昭60)	3	5		6	—	
1986	(昭61)	1	5	水島宏一	3	—	水島宏一
1987	(昭62)	1	5	水島宏一	2	—	水島宏一
1988	(昭63)	1	6	佐藤寿治	2	—	佐藤寿治
1989	(平元)	2	4		2	—	佐藤寿治
1990	(平2)	1	5	西川大輔	1	—	西川大輔
1991	(平3)	2	6	西川大輔	3	—	西川大輔
1992	(平4)	2	5		5	—	
1993	(平5)	2	7		5	—	
1994	(平6)	3	7		4	—	
1995	(平7)	3	7		4	—	
1996	(平8)	2	6	畠田一道	3	—	
1997	(平9)	3	5		1	—	
1998	(平10)	3	5		5	—	
1999	(平11)	4	5		7	—	
2000	(平12)	4	4		7	—	
2001	(平13)	3	6		5	—	
2002	(平14)	4	7		5	—	

日本大学体操部出身オリンピック代表

年	開催地	代 表			
1964 (昭 39)	東京	早田卓次	渋谷多喜		
1968 (昭 43)	メキシコ	早田卓次			
1972 (昭 47)	ミュンヘン	矢部信恵	宮本敏子		
1976 (昭 51)	モントリオール	梶山広司	五十嵐久人	山崎信恵	林田房美
1980 (昭 55)	モスクワ	梶山広司	山脇恭二		
1984 (昭 59)	ロサンゼルス	山脇恭二	平田倫敏	小野田博之	
1988 (昭 63)	ソウル	水島宏一	佐藤寿治	(西川大輔)	
1992 (平 4)	バルセロナ	知念 孝	佐藤寿治	松永政行	西川大輔
1996 (平 8)	アトランタ	佐藤寿治	(関根 彩)		
2000 (平 12)	シドニー	岩井則賢			



早田先生紫綬褒章受章祝賀会にて
お祝いにかけつけてくれた清水宏保選手と

日本大学桜樹会 会員在住地別集計表

2003. 04. 25 現在

県名	人数	ブロック
北海道	15	15
青森県	9	85
岩手県	3	
宮城県	11	
秋田県	29	
山形県	22	
福島県	11	400
茨城県	29	
栃木県	11	
群馬県	15	
埼玉県	78	
千葉県	58	
東京都	128	
神奈川県	74	
山梨県	7	
長野県	9	
新潟県	6	29
富山県	4	
石川県	2	
福井県	8	

県名	人数	ブロック
岐阜県	3	34
静岡県	24	
愛知県	6	
三重県	1	73
滋賀県	3	
京都府	12	
大阪府	22	
兵庫県	23	
奈良県	2	
和歌山県	11	38
鳥取県	9	
島根県	1	
岡山県	14	18
広島県	11	
山口県	3	
徳島県	5	
香川県	6	
愛媛県	0	
高知県	7	
福岡県	15	

県名	人数	ブロック
佐賀県	2	41
長崎県	2	
熊本県	8	
大分県	4	
宮崎県	0	
鹿児島県	3	
沖縄県	7	
海外	6	
不明	58	
退会	2	
逝去	15	

会員総数	812名
(不明/逝去除く)	739名
男性会員	570名
女性会員	242名

会員在住地上位5

1位	東京都	128
2位	埼玉県	78
3位	神奈川県	74
4位	千葉県	58
5位	秋田県	29
5位	茨城県	29

会員のいない県

愛媛県
宮崎県



早田先生受章祝賀会

会員出身校上位20

1位	茨城/土浦日大高	42名
2位	大阪/清風高	19名
3位	山形/日大山形高	18名
3位	秋田/秋田工業高	18名
5位	秋田/能代高	17名
5位	千葉/習志野高	17名
7位	沖縄/興南高	16名
8位	東京/日大豊山高	15名
9位	岡山/関西高	14名
9位	京都/洛南高	14名
11位	東京/国学院高	12名
12位	神奈川/湘南(相模)工大附高	11名
13位	福岡/戸畑高	10名
13位	和歌山/和歌山北高	10名
15位	群馬/高崎工高	9名
15位	静岡/日大三島高	9名
15位	栃木/作新学院高	9名
15位	兵庫/葦合高	9名
19位	埼玉/埼玉栄高	8名
19位	山形/酒田中央高	8名
19位	山梨/日大明誠高	8名
19位	大阪/四天王寺高	8名
19位	東京/二階堂高	8名



早田先生受章祝賀会

会報への原稿募集について

日本大学桜樹会会員として活躍されている各位の体験談(よかったこと、悪かったこと、成功したこと、失敗したこと、今後の指導に望むことなど)をはじめとして、学生時代の思い出、現在興味を持っていること、近況報告などの原稿を募集しております。原稿枚数など特別な指定は設けませんのでぜひ投稿していただきたいと思っています。なお、こちらから原稿依頼をさせていただく場合もありますので、もし依頼状が手元に届きましたらお忙しいとは存じますが桜樹会の発展のためにも少しの時間をさいて寄稿していただけるようお願い申し上げます(投稿締切; 毎年3月31日)。

投稿先; 日本大学桜樹会事務局

〒157-0061 世田谷区北烏山7-5-12 遠藤 幸一

Fax 番号 03-3305-2984 電子メールアドレス endok@bus.nihon-u.ac.jp

編集後記

今回の37号は、日本大学桜樹会創立40周年の節目を迎えるということで、記念号として発刊しました。内容的には、原稿依頼をほとんど行わず、提供された多くの写真をほぼ時系列に掲載し、40年の歴史を感じていただくことを主旨に編集しました。いかがでしたでしょうか?

しかし正直に話せば、多くの方に原稿を書く負担をかけないようにするという名目で、実は原稿集めから編集までの労力をできる限り簡単に終わらせようという、私の怠け心あつての企画でした。したがって、見方によってはずいぶんと手を抜いた感じのする会報になったとまずは反省の弁を述べさせていただきます。

ただ、久しぶりに学生時代の写真を眺めているうちに、色々と忘れかけていたこと

をずいぶんと思い出しました。改めてその日々が自分の宝であることをつくづく感じました。

今回ご紹介した写真はほんの一部です。是非、お手持ちの学生時代のアルバムを紐解き、同封しております会員名簿を利用して仲間に連絡をとってみてください。そしてその時、大きな満足感を得ていただけるのであれば、総務の仕事として不十分ではありますが、それなりに苦勞して会員管理をしている甲斐があったと、ひそかに思わせていただきます。

今後とも、事務局から何か送られてきた場合、決して無視せず、ご対処いただくようお願いし、編集後記とします。

(遠藤幸一 記)

日本大学桜樹会会報 第37号

—日本大学桜樹会創立40周年記念号—

発行日 平成15年5月20日

発行者 日本大学桜樹会

出版所 日本印刷株式会社

東京都千代田区外神田6-3-3

〒101-0021 電話 03-3833-6971